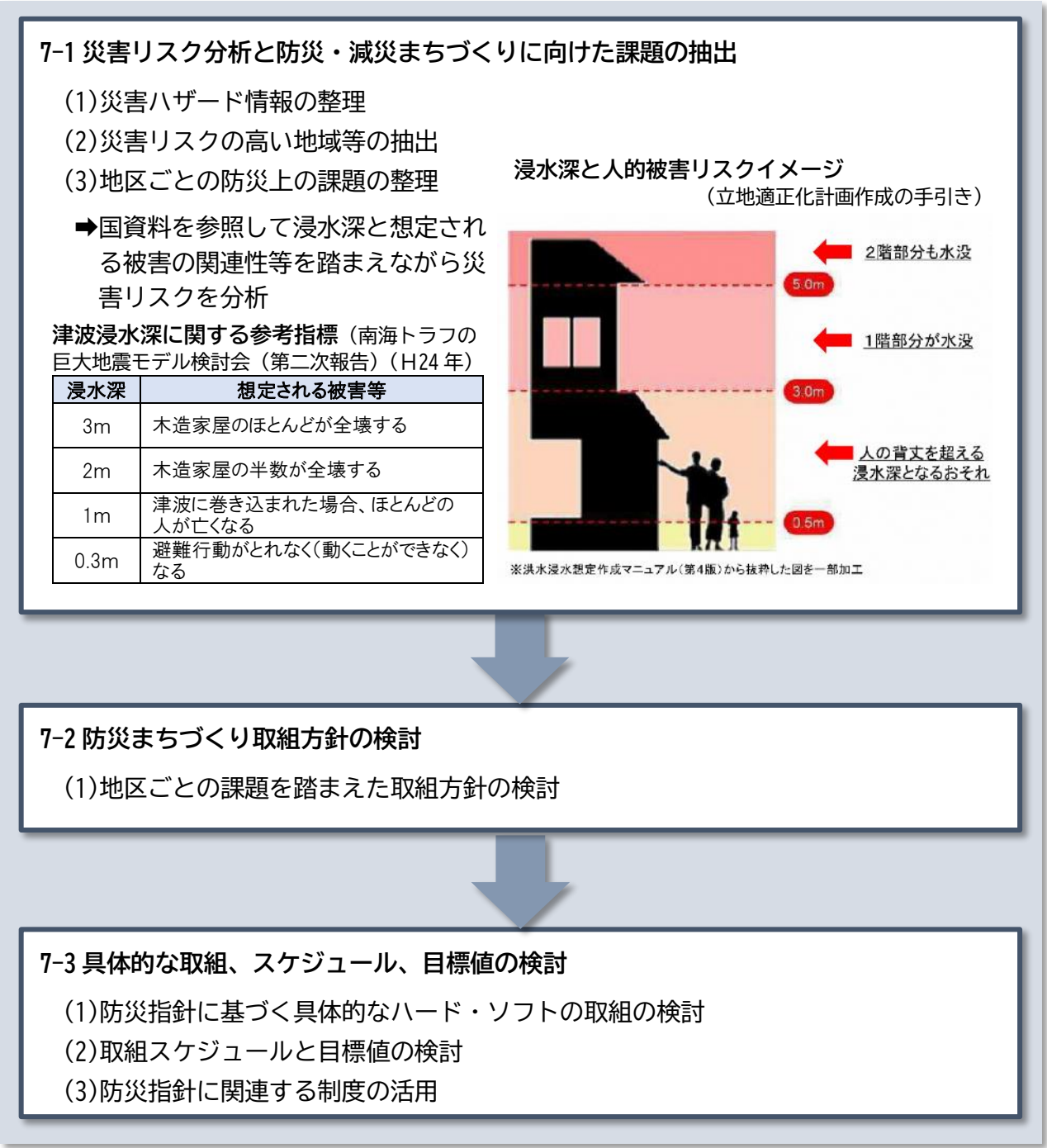


第 7 章 防災指針

防災指針は、居住や都市機能の誘導を図る上で必要となる都市の防災に関する機能の確保を図るための指針であり、当該指針に基づく具体的な取組と併せて立地適正化計画に定めるものです。（都市計画運用指針）

図 防災指針の検討フロー（立地適正化計画作成の手引きに加筆）



7-1 災害リスク分析と防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出

(1) 災害ハザードの整理

本町において想定されている災害ハザード情報は以下のようなものがあります。

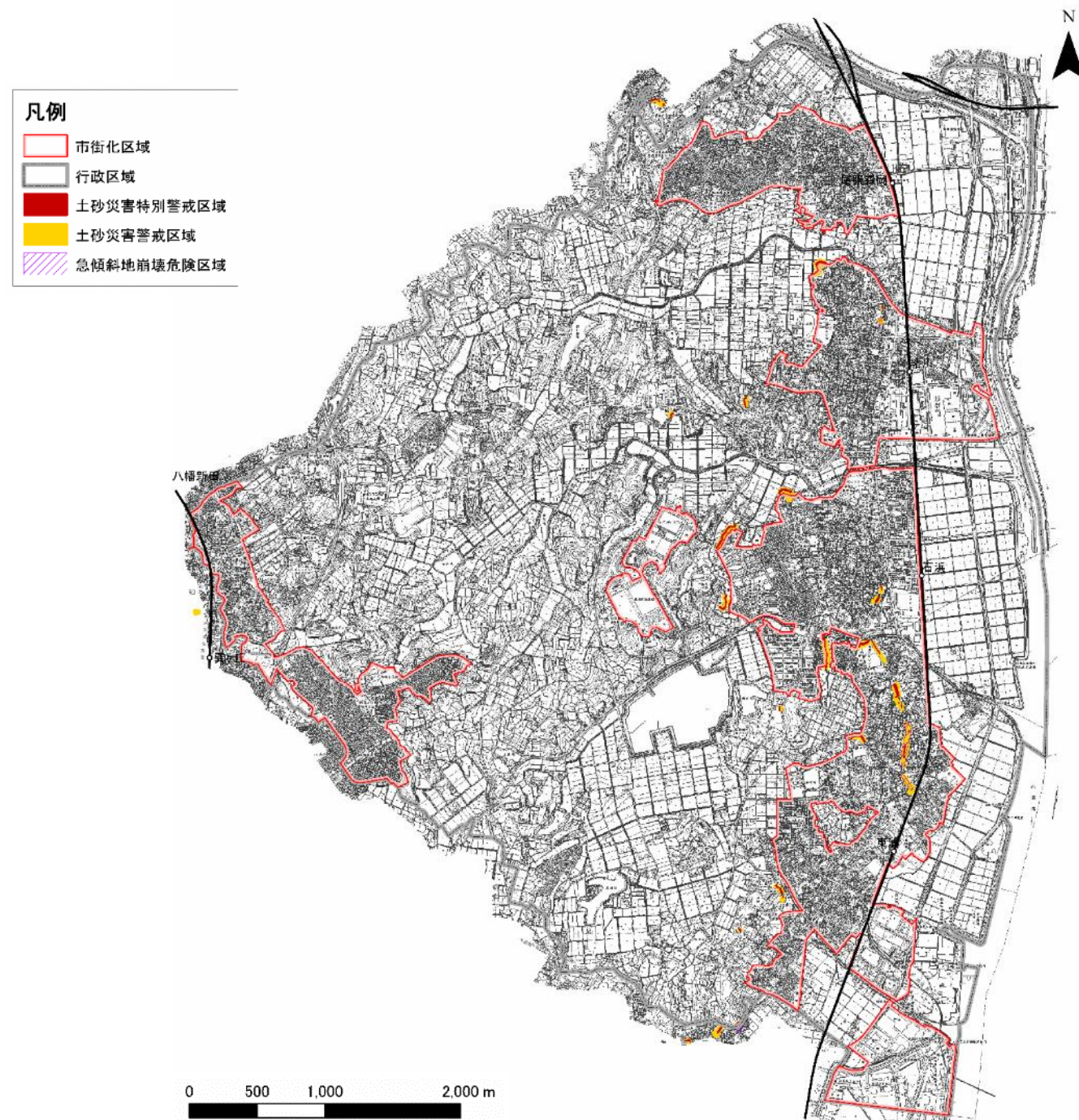
表 本町において懸念される災害リスク

種別	区域
土砂災害	土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域 急傾斜地崩壊危険区域
水災害	洪水浸水想定区域（計画規模） ※河川整備において基本となる降雨による浸水（100 年に一度の確率）
	洪水浸水想定区域（想定最大規模） ※想定し得る最大規模の降雨（千年に一度の確率）による浸水
	津波災害警戒区域 ※最大クラス（千年以上に一度の確率）の津波を対象に浸水の区域及び水深を設定
	高潮浸水想定区域（想定最大規模） ※室戸台風規模（5 百年から数千年に一度の確率）による浸水
	高潮浸水想定区域（伊勢湾台風規模） ※伊勢湾台風規模（50～150 年に一度の確率）による浸水
	ため池浸水想定区域

■土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域

土砂災害のリスクが高い地区は町東部の市街化調整区域に分布する傾向にありますが、市街化区域の一部でも見られ、また、住宅も立地しています。

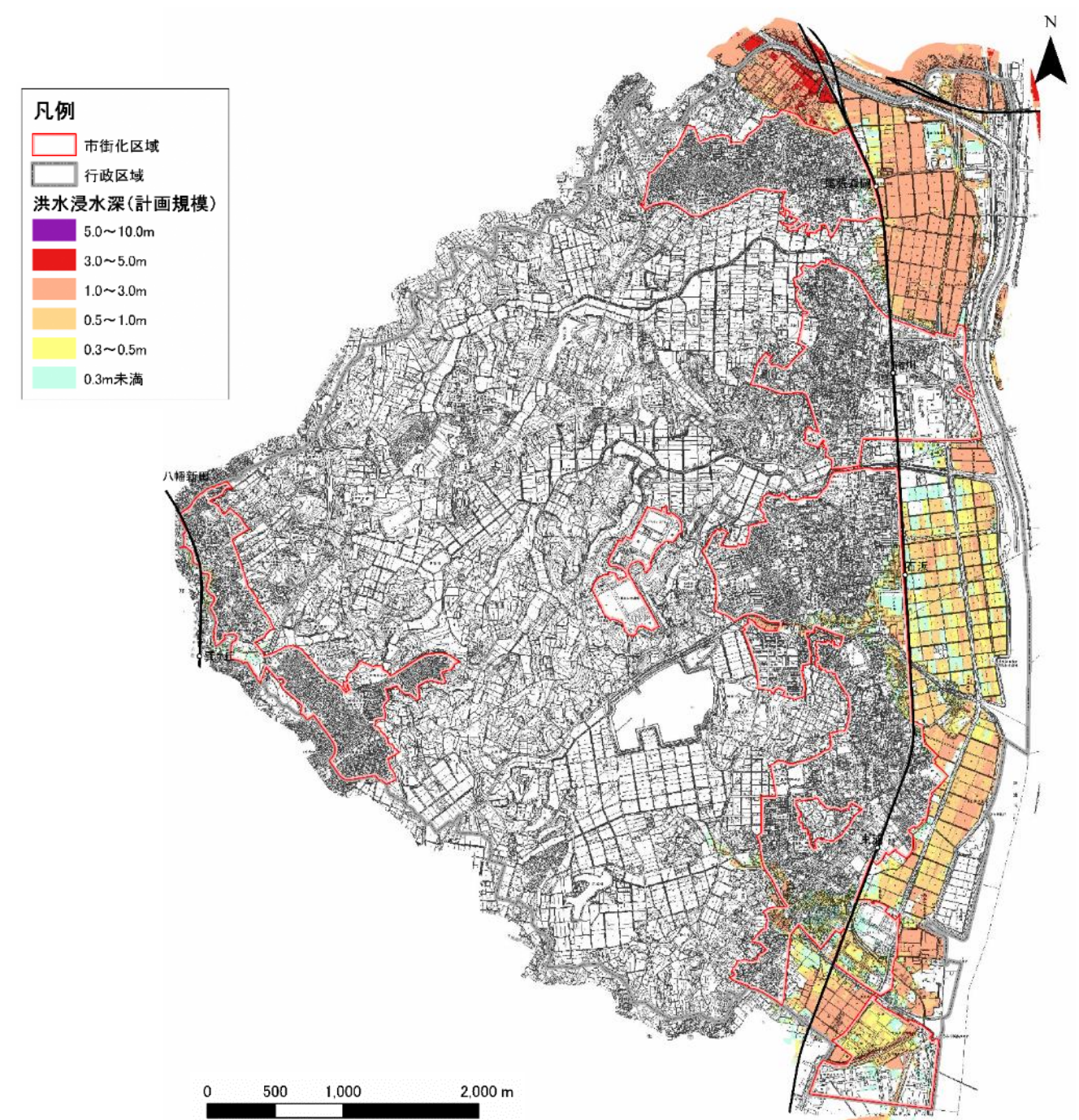
図 土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域・急傾斜地崩壊危険区域



■洪水浸水想定区域（計画規模）

町東部の鉄道東側の市街化調整区域を中心に浸水想定区域が広がっています。また、床上浸水被害が想定される浸水深 0.5m以上の浸水想定区域が市街化区域の一部で見られます。ハード整備には長期間を要するため、それまでの間は想定される浸水に対する対策が必要です。

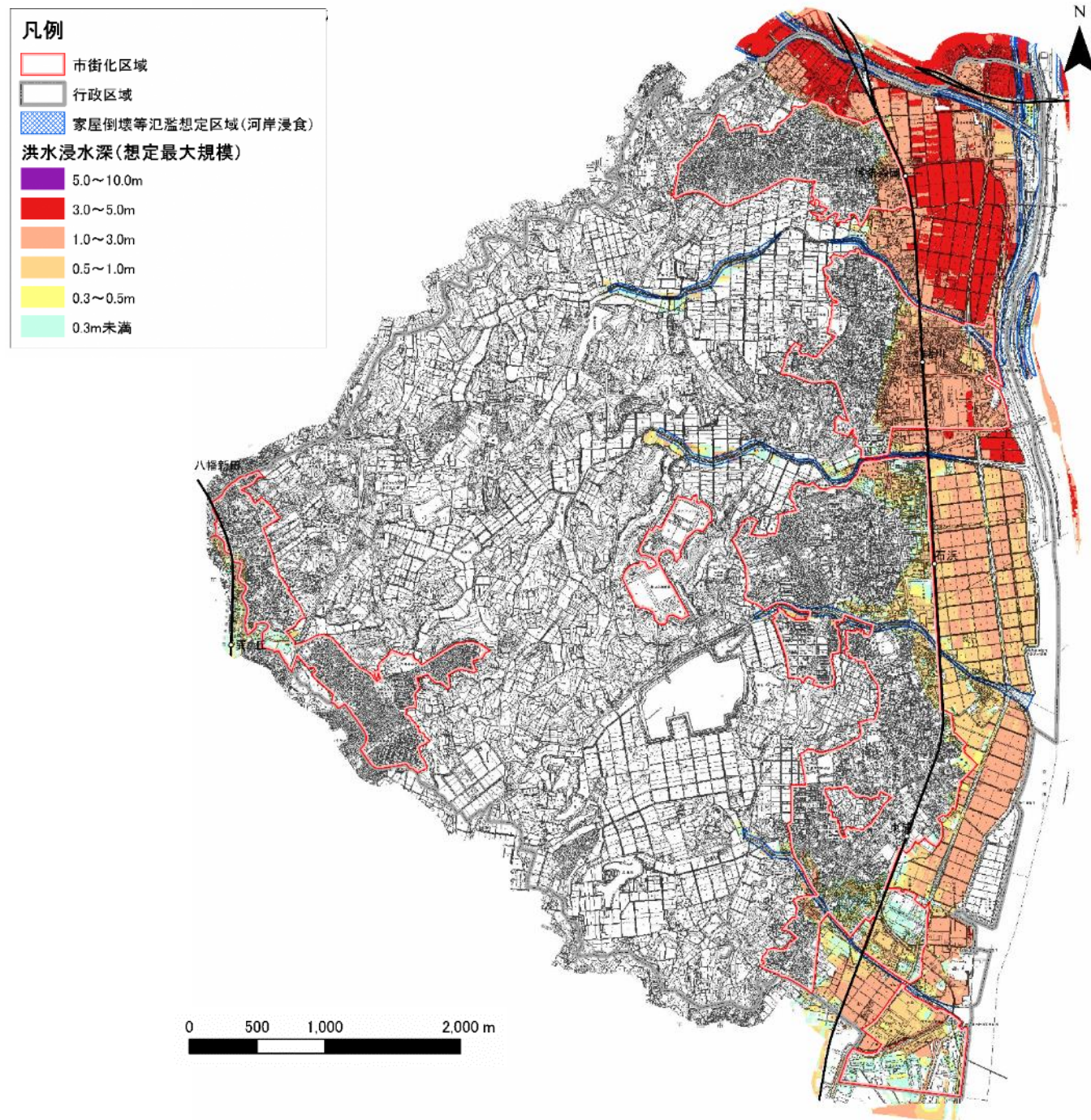
図 洪水浸水想定区域（計画規模）



■洪水浸水想定区域（想定最大規模）

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域となっています。計画規模と比較して鉄道の西側まで浸水想定区域が広がっています。床上浸水被害が想定される浸水深 0.5m以上の浸水想定区域が鉄道駅西側の市街化区域にもみられますが、垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水は市街化区域ではほとんどみられません。一方、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）が町内を流れる各河川沿いの地域でみられ、一部で住宅も立地しています。

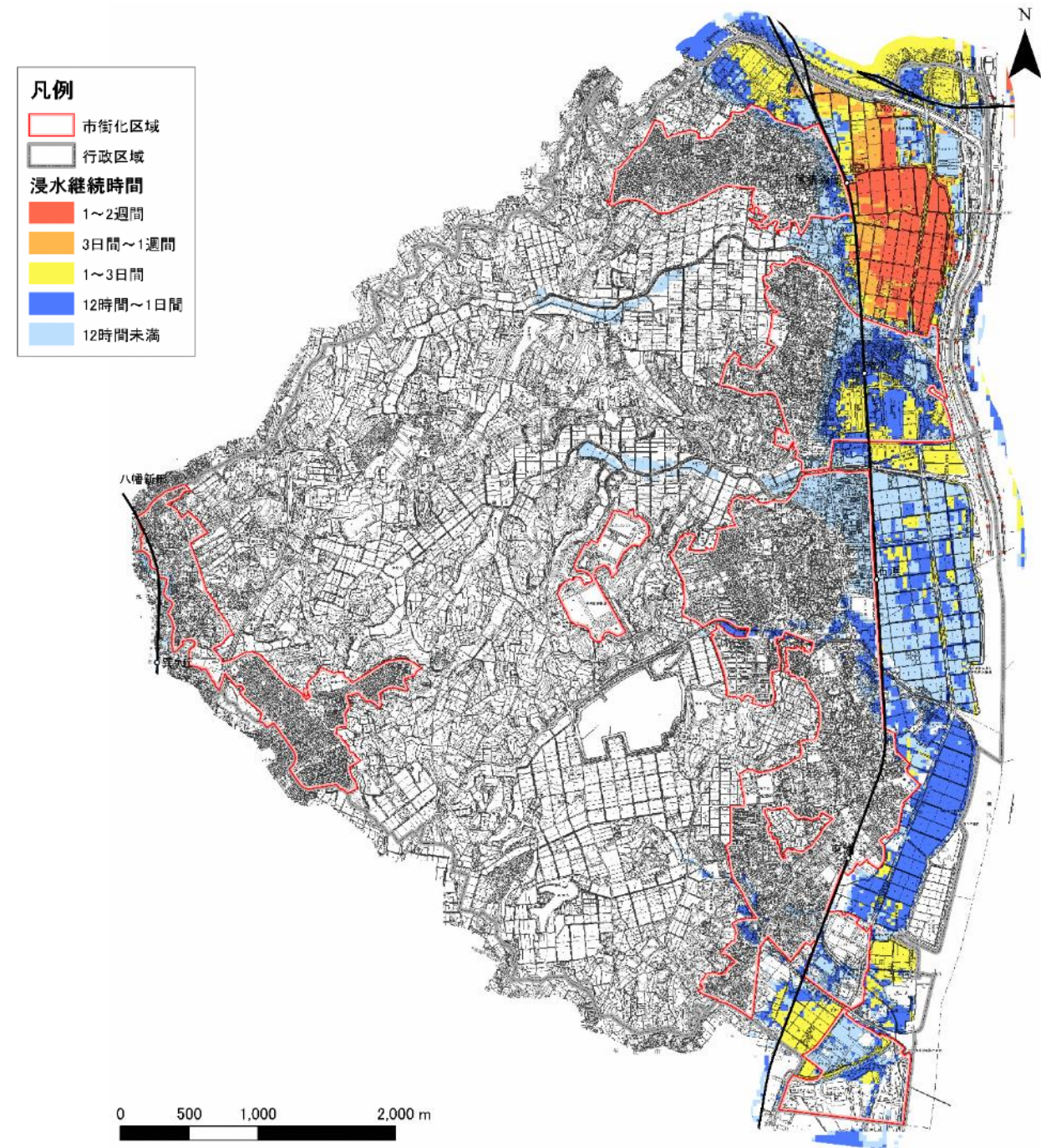
図 洪水浸水想定区域（想定最大規模）



■洪水浸水想定区域（想定最大規模：浸水継続時間）

想定最大規模の洪水による浸水深 0.5m 以上の浸水想定区域における浸水継続時間をみると、尾張森岡駅周辺の市街化調整区域の農地では3日～2週間と長期の浸水が予想されています。市街化区域では、緒川駅周辺で1～3日間の浸水が予想されていますが、健康障害の発生や最悪の場合は生命の危機が生じる恐れがあるとされる3日以上孤立が想定される市街地はみられません。

図 洪水浸水想定区域（想定最大規模：浸水継続時間）

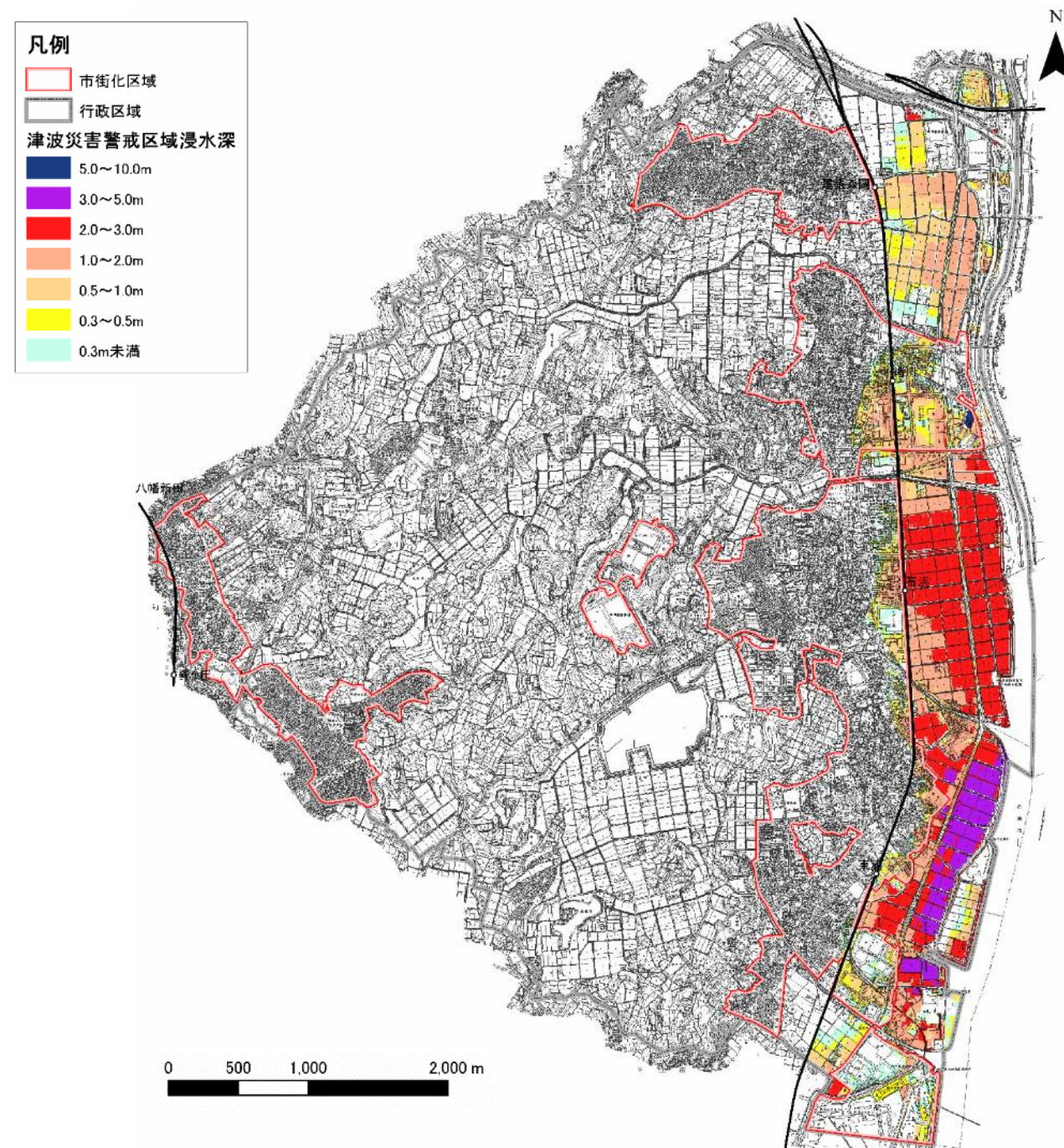


■津波災害警戒区域

町東部の鉄道東側の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられます。津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなるとされる浸水深 1.0m以上の浸水想定区域が鉄道駅西側の市街化区域にもみられますが、木造家屋の半数が全壊する目安となる浸水深 2.0m以上の浸水は市街化区域内ではほとんどみられません。

一方、想定される津波は、地震発生からの津波到達時間が約 83 分と避難に要する時間確保が可能です。

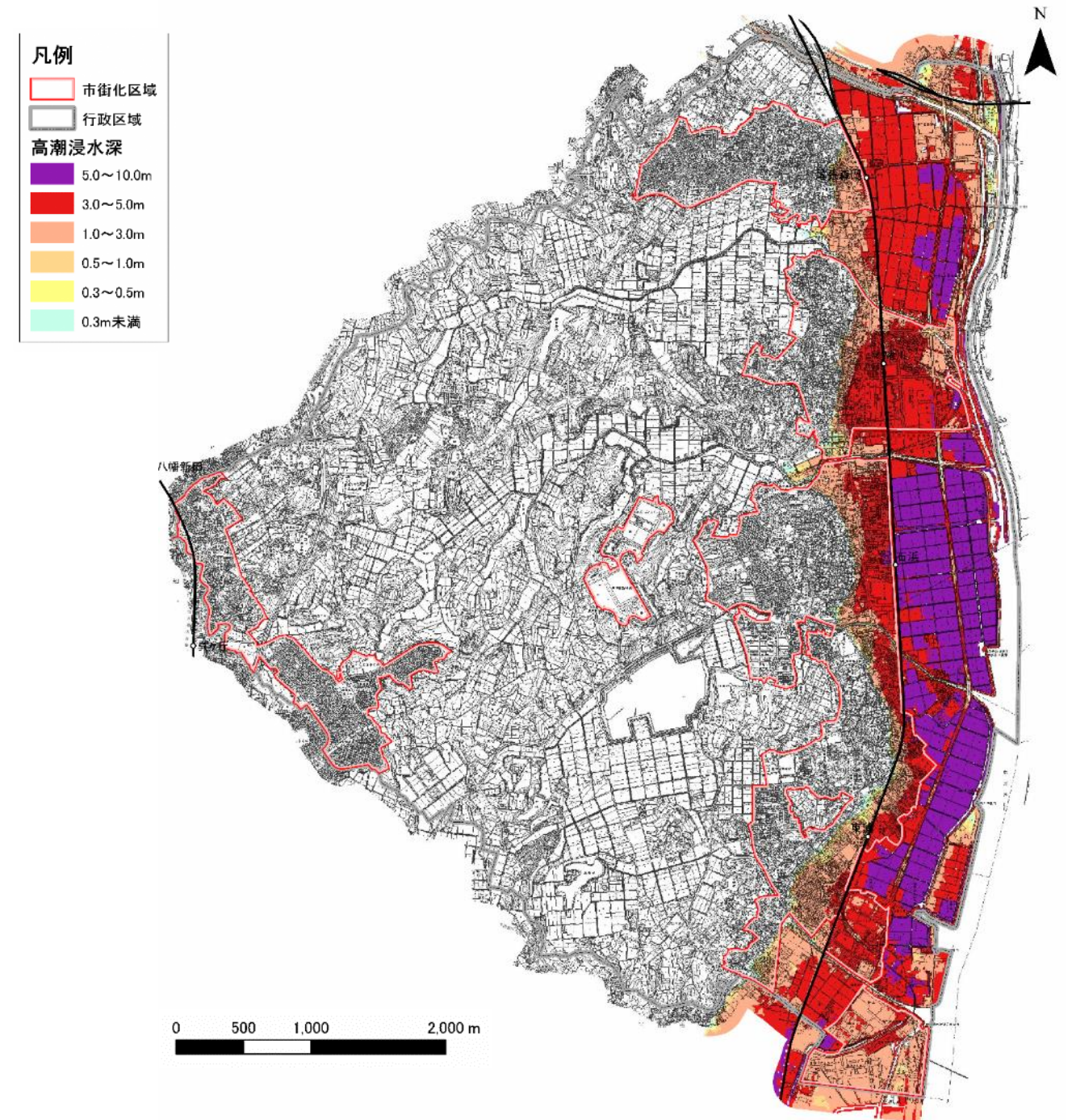
図 津波災害警戒区域



■高潮浸水想定区域（想定最大規模：室戸台風規模）

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられ、鉄道の西側まで浸水想定区域が広がっています。また、垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水が鉄道西側の市街化区域においてもみられ、都市拠点に位置付けられた緒川駅をはじめ、生活の拠点となる鉄道駅周辺の市街地でも深い浸水深が想定されています。

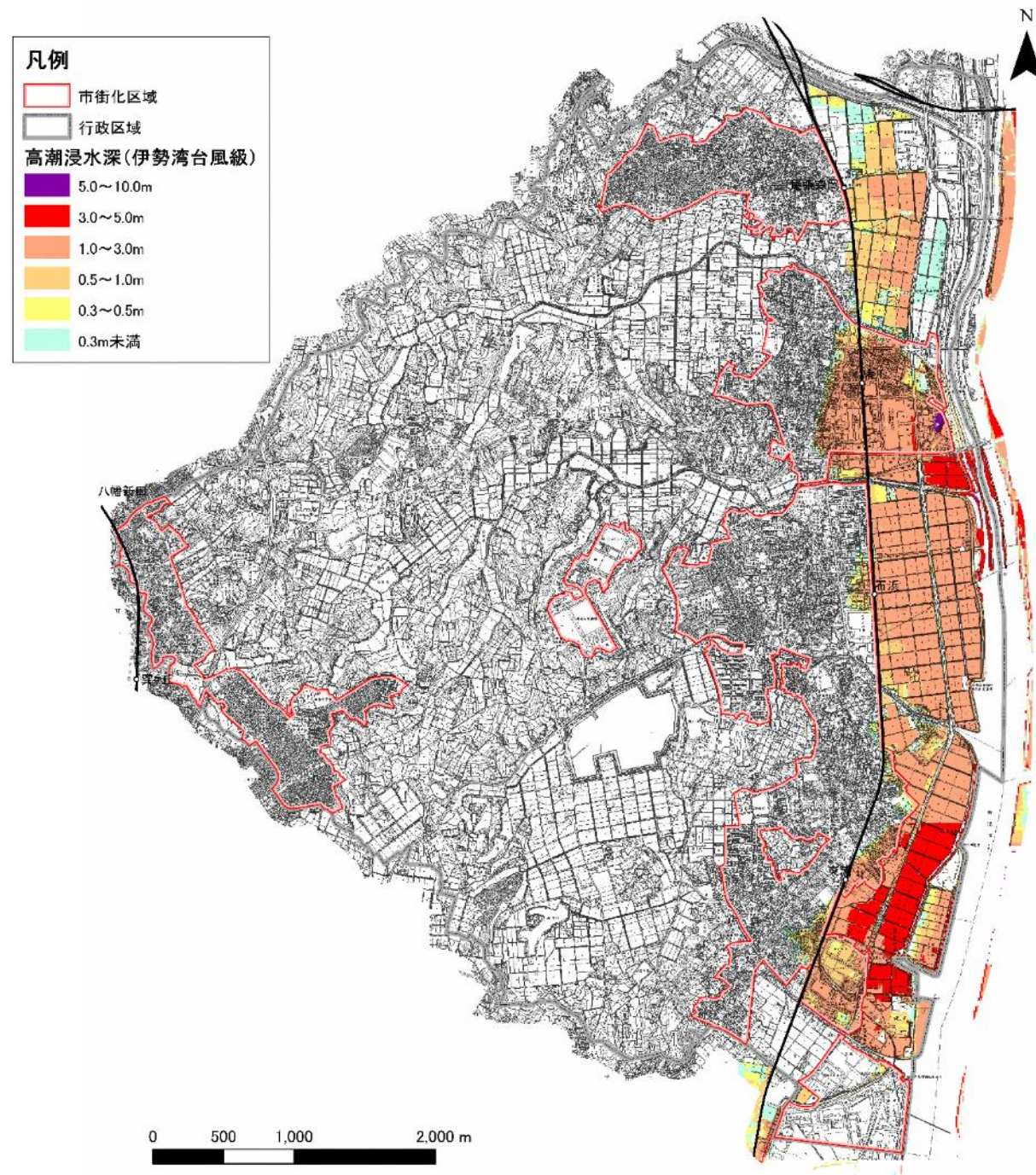
図 高潮浸水想定区域（想定最大規模：室戸台風規模）



（参考）高潮浸水想定区域（伊勢湾台風規模）

町東部の市街化調整区域を中心に浸水想定区域がみられ、鉄道の西側まで浸水想定区域が広がっている地域もありますが、室戸台風規模の高潮浸水想定区域と比較するとその範囲は一部にとどまっています。また、垂直避難が困難な浸水深 3.0m以上の浸水は市街化区域ではほとんどみられません。

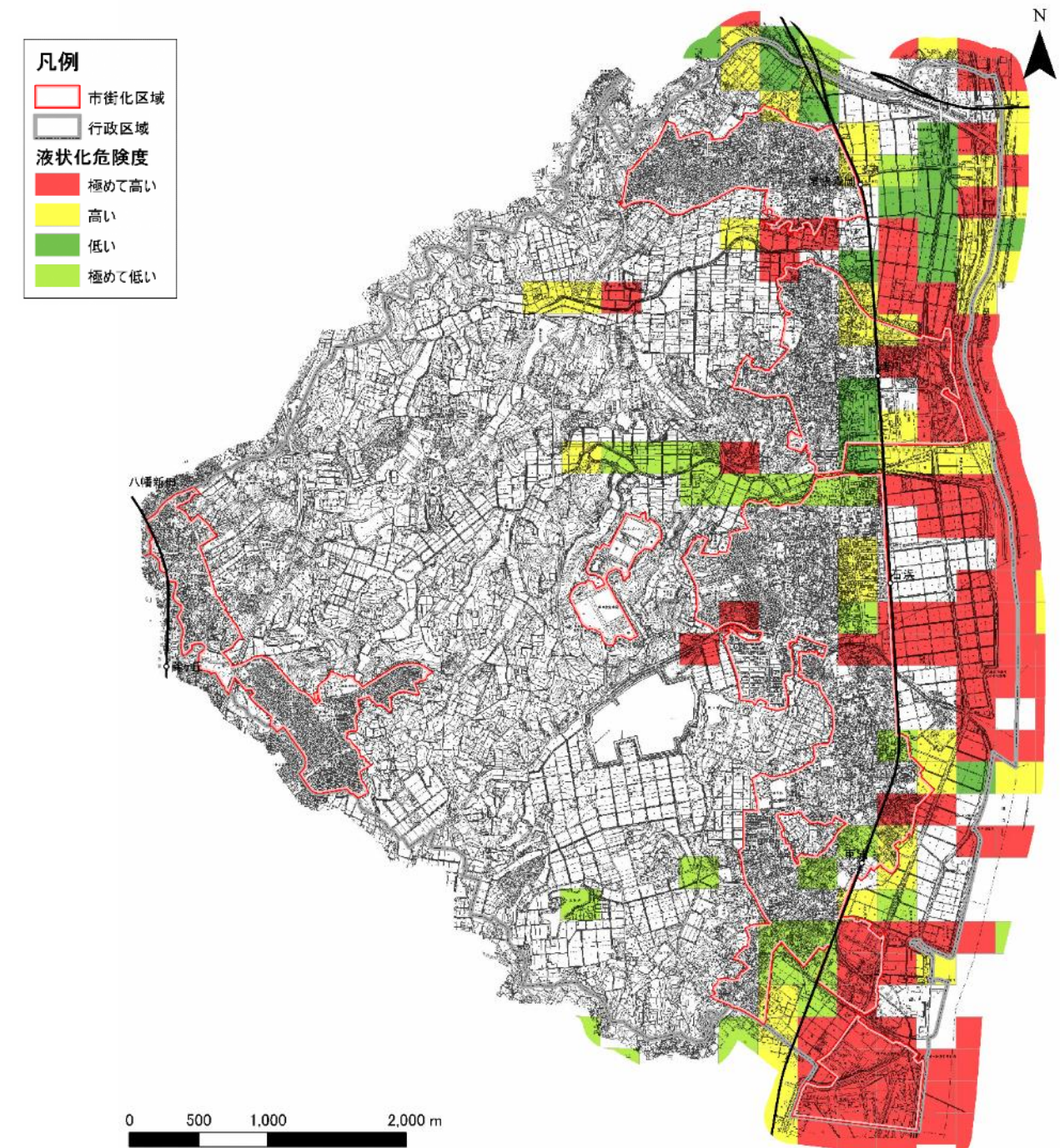
図 高潮浸水想定区域（伊勢湾台風規模）



（参考）液状化危険度

境川沿いの地域やその他の小河川沿いの地域で液状化が発生する可能性が高いと予想されています。特に境川周辺では液状化危険度が極めて高い地域が広範囲に広がっています。

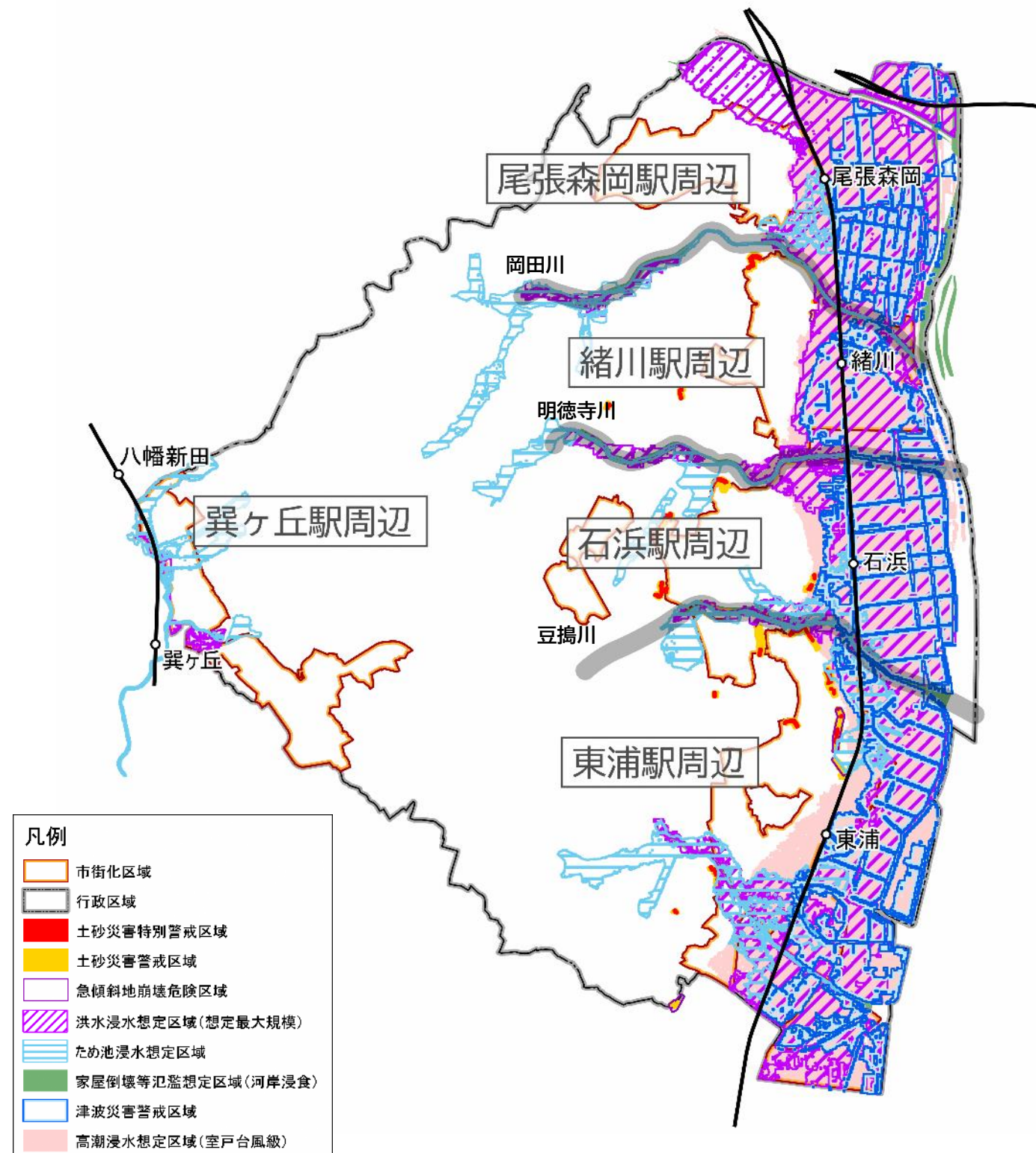
図 液状化（南海トラフ地震陸側ケース）



(2) 災害リスクの高い地域の抽出

災害ハザードの整理を踏まえ、水災害の危険性が高い地域を抽出することとし、町東部は南北に広範囲に広がっていることから、町内を流れる河川により区分します。これにより下図の5地区を災害リスクの高い地域として抽出します。

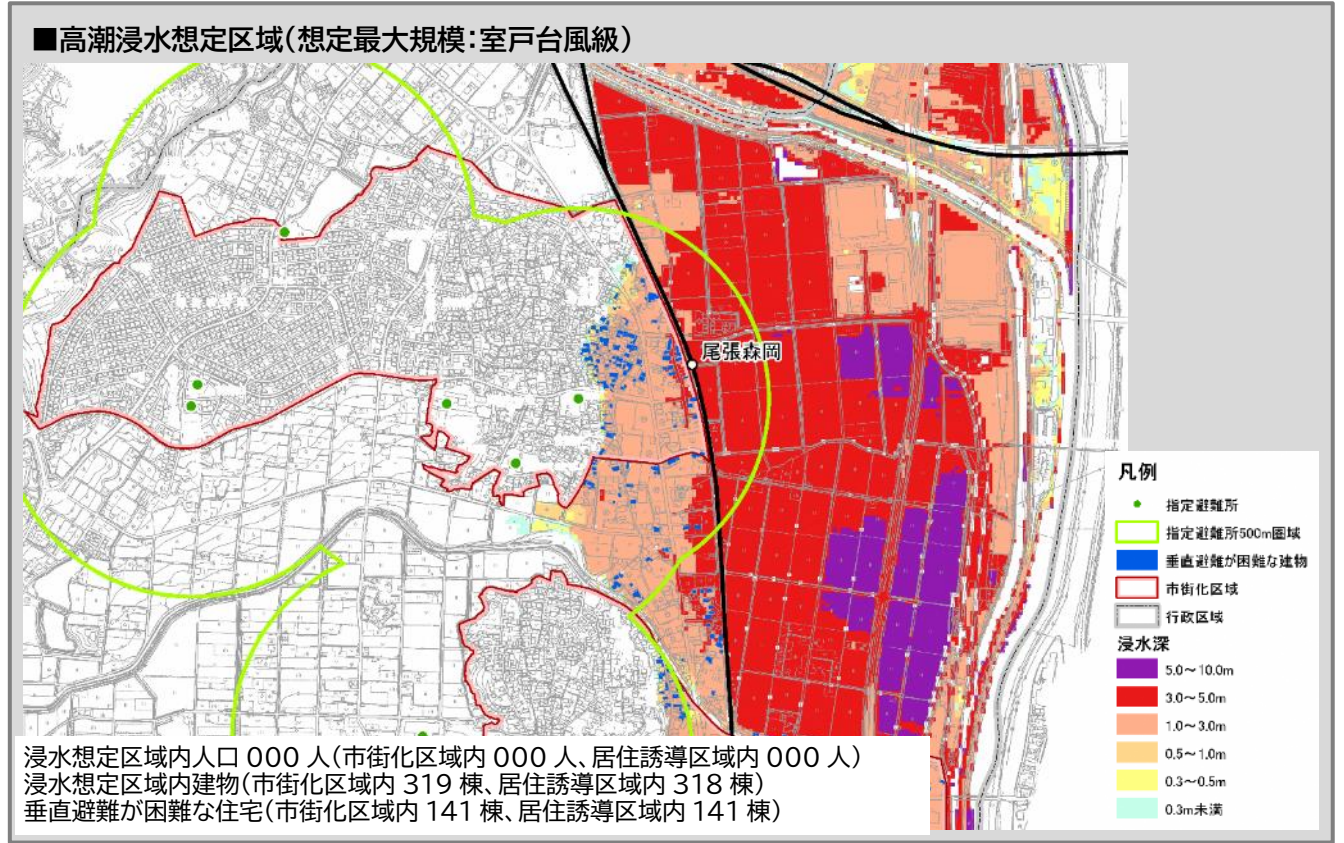
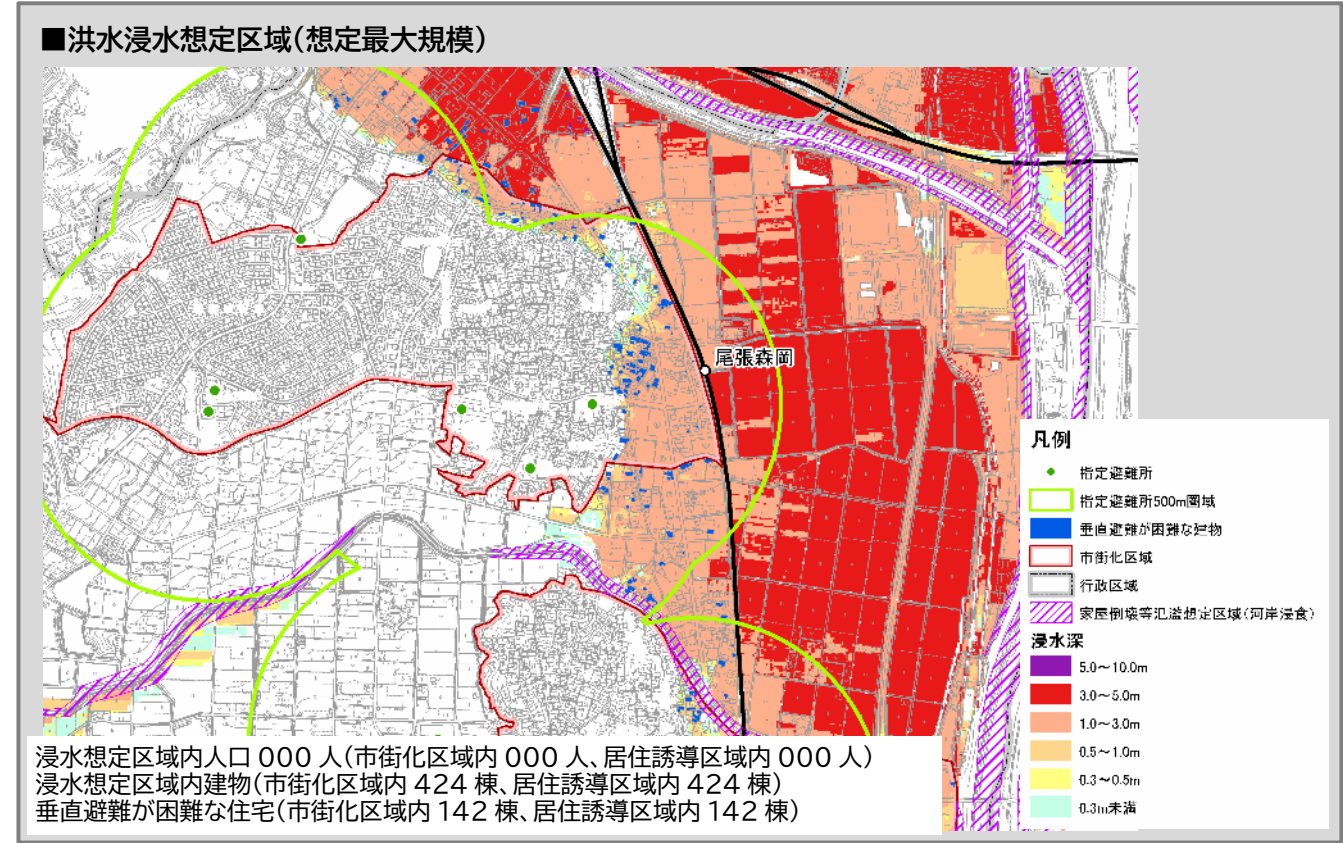
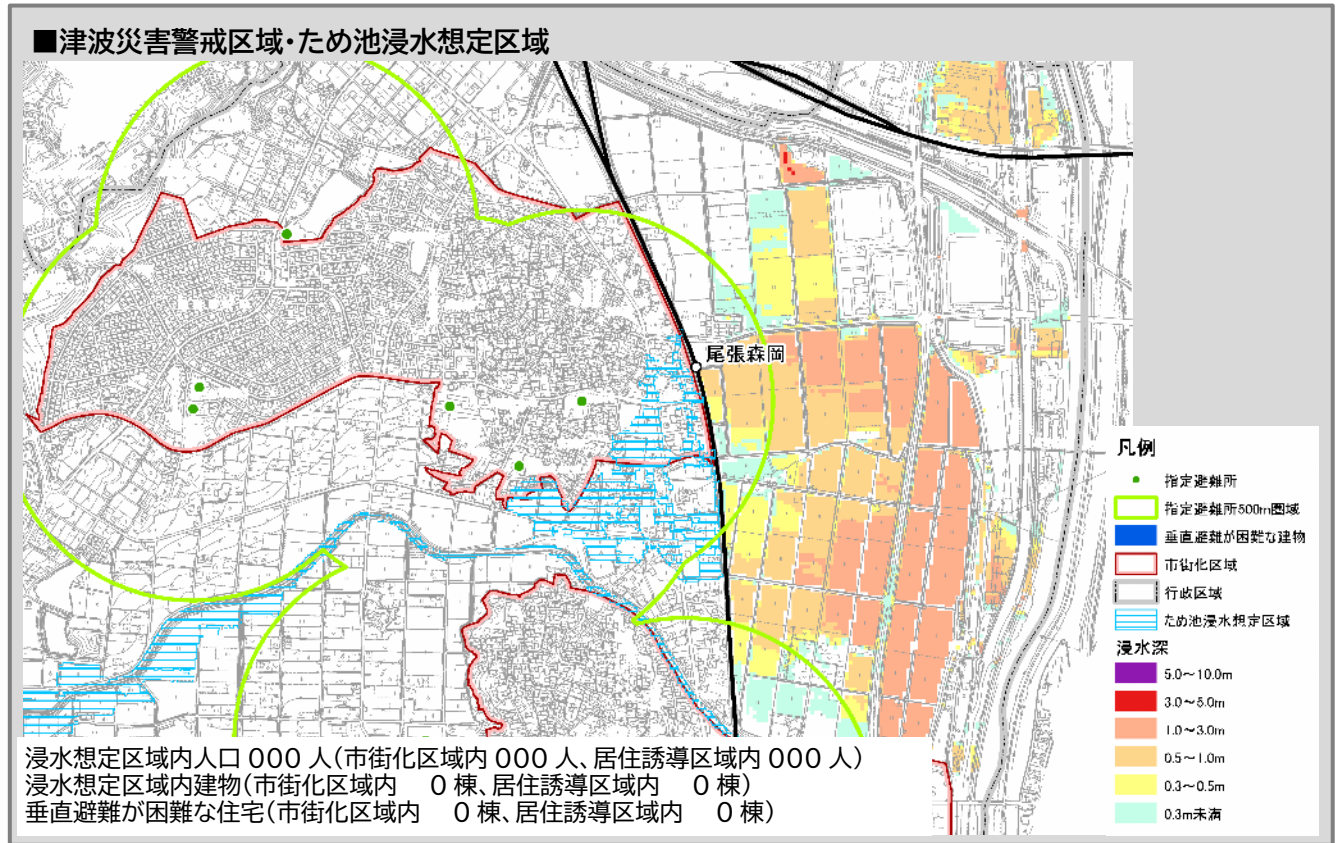
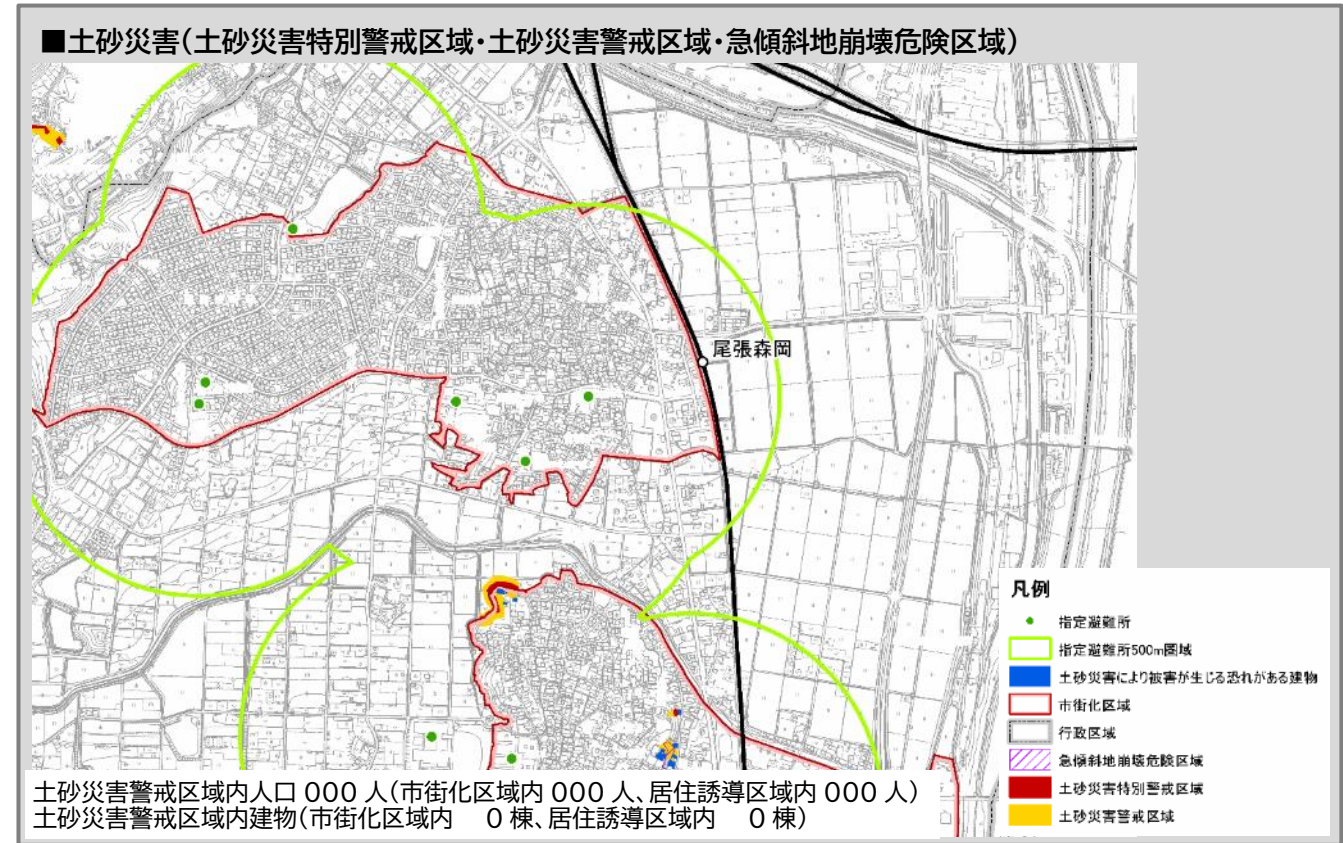
図 災害リスクの重ね合わせ図



(3) 地域ごとの防災上の課題の整理

① 尾張森岡駅周辺

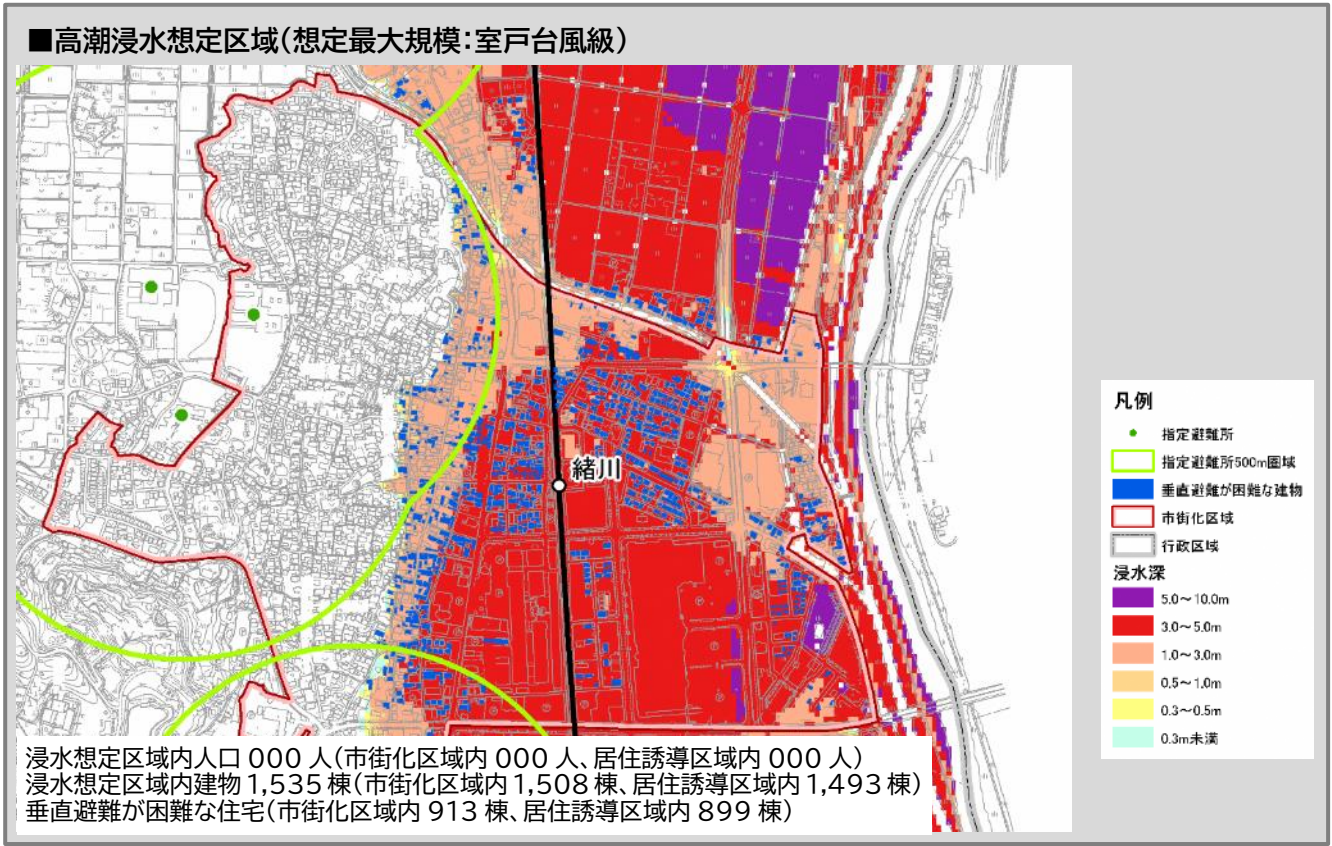
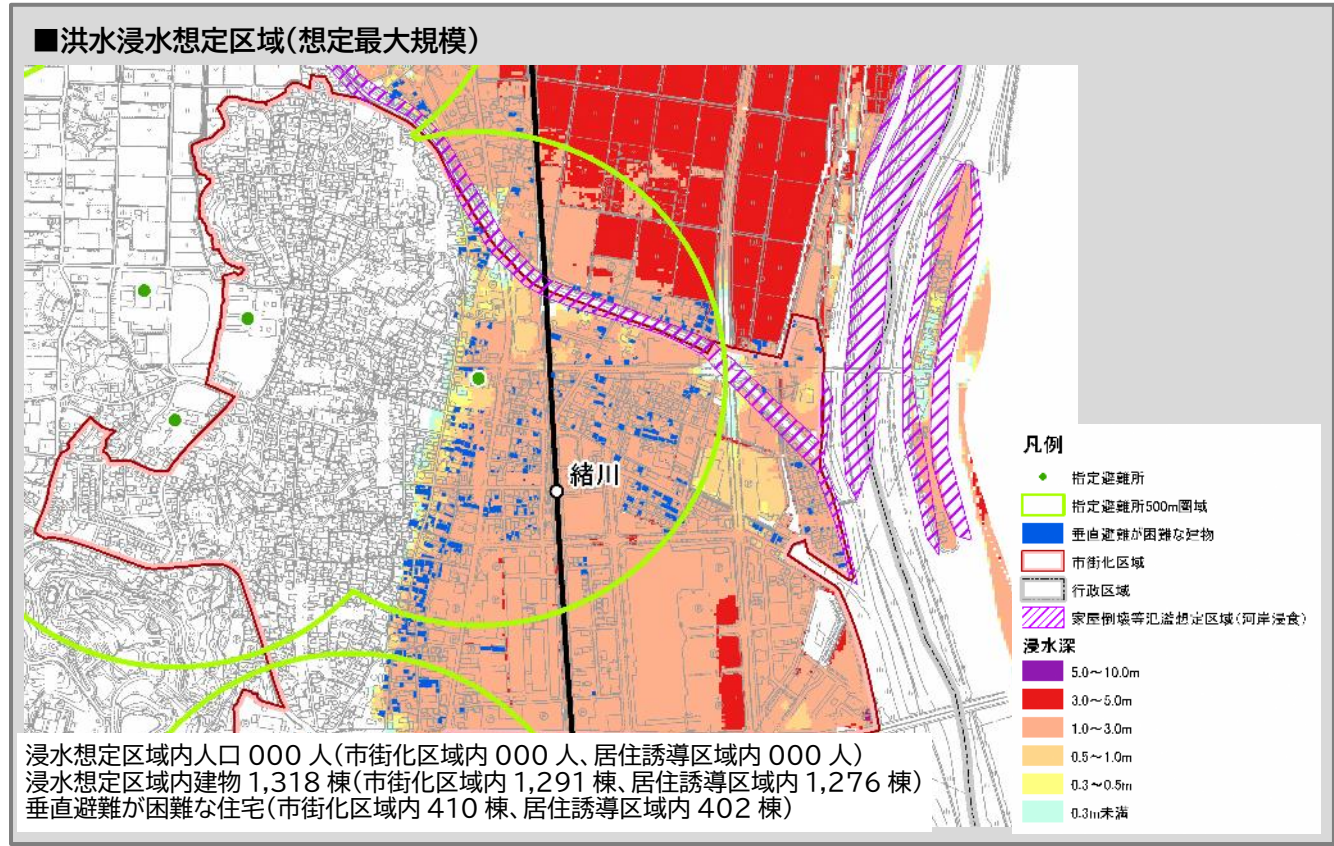
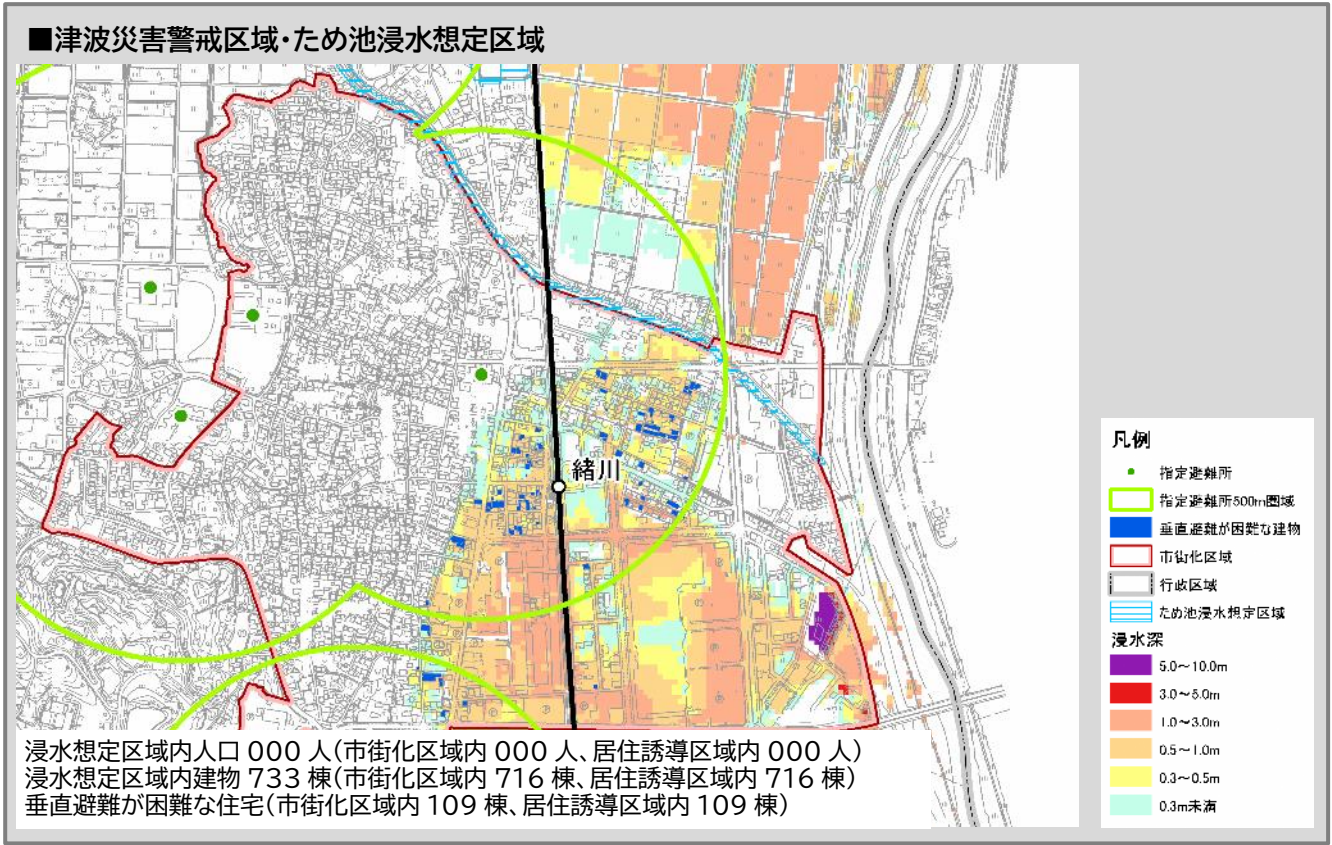
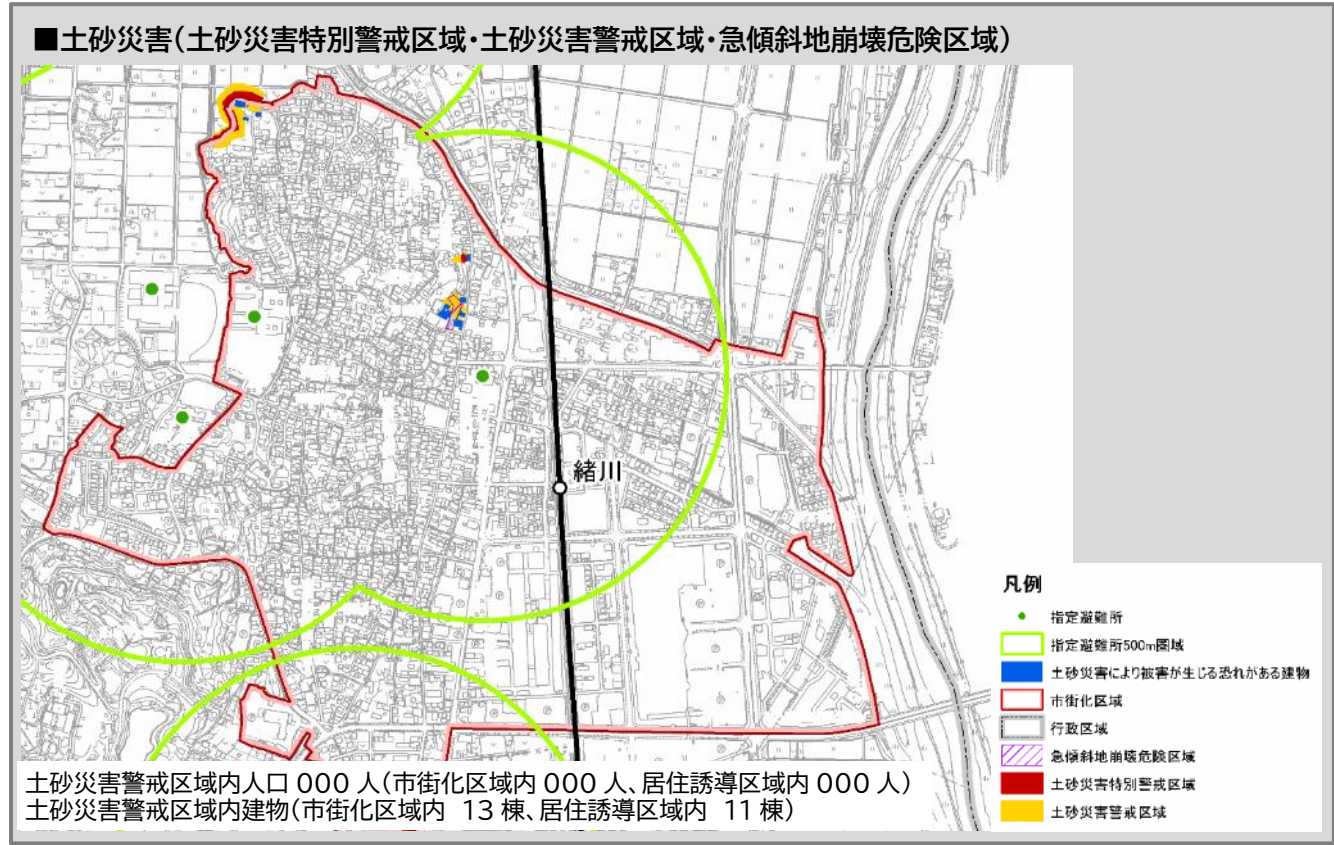
尾張森岡駅周辺の市街化区域では土砂災害の危険性が高い地区はみられません。一方、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に洪水、高潮の浸水深が高い傾向にあります。



31.47 mm

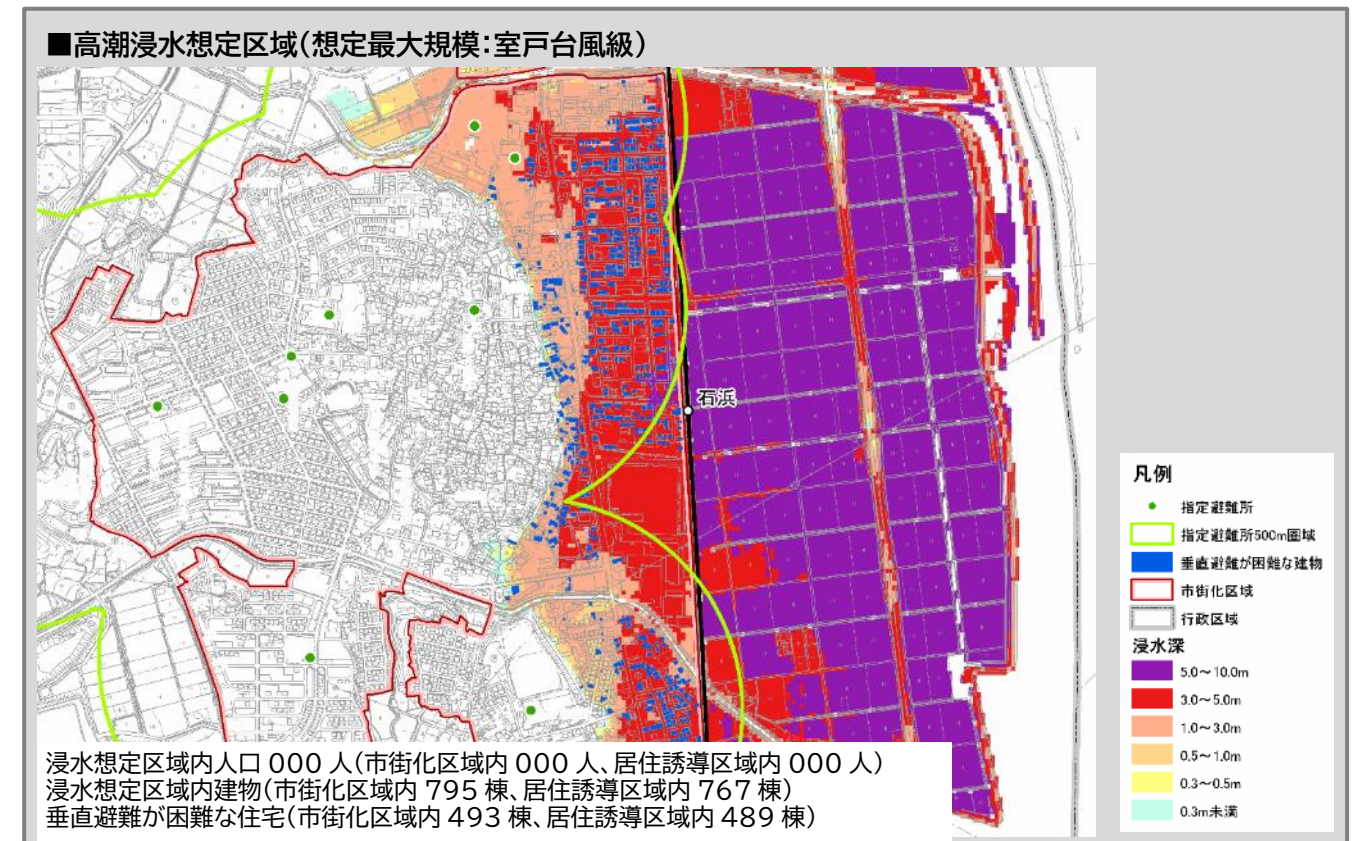
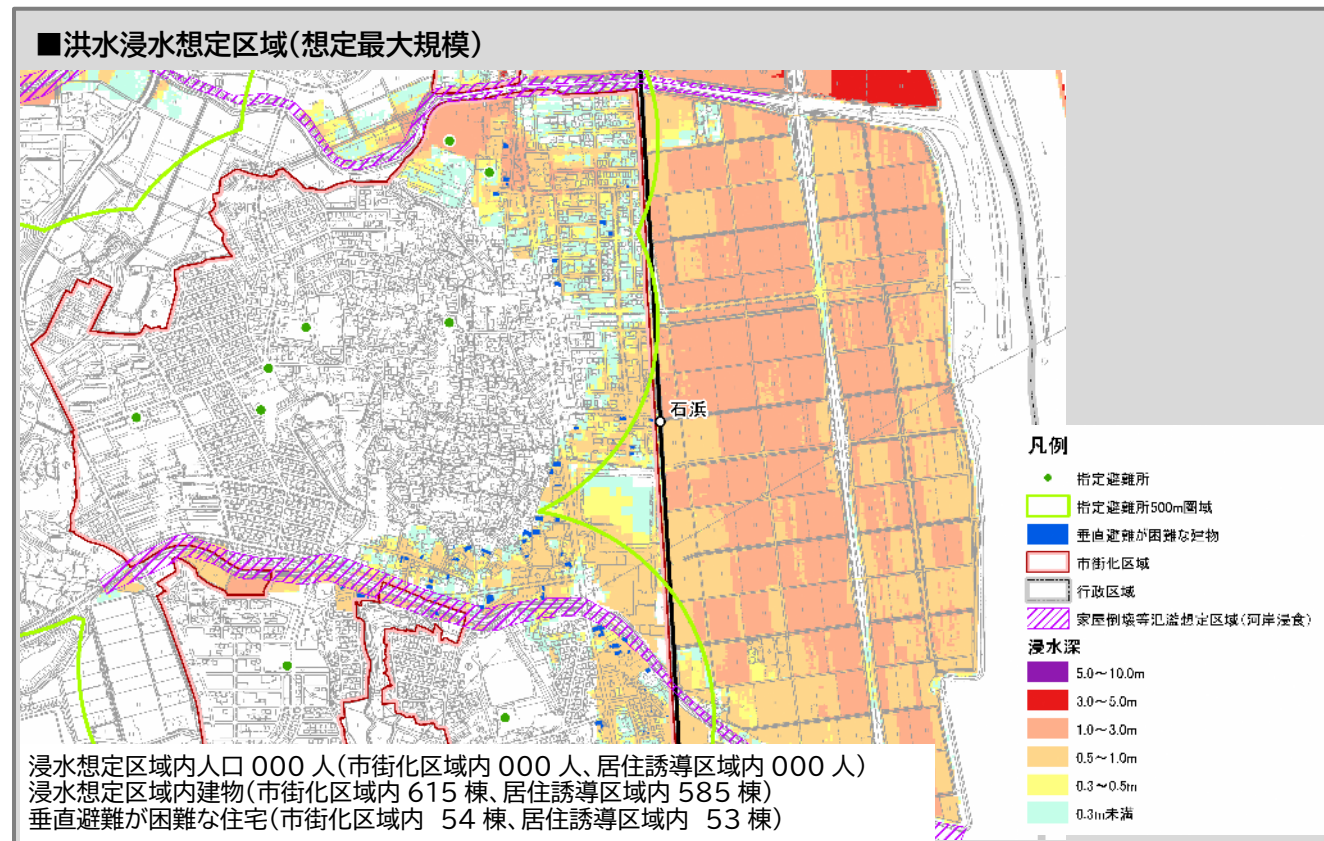
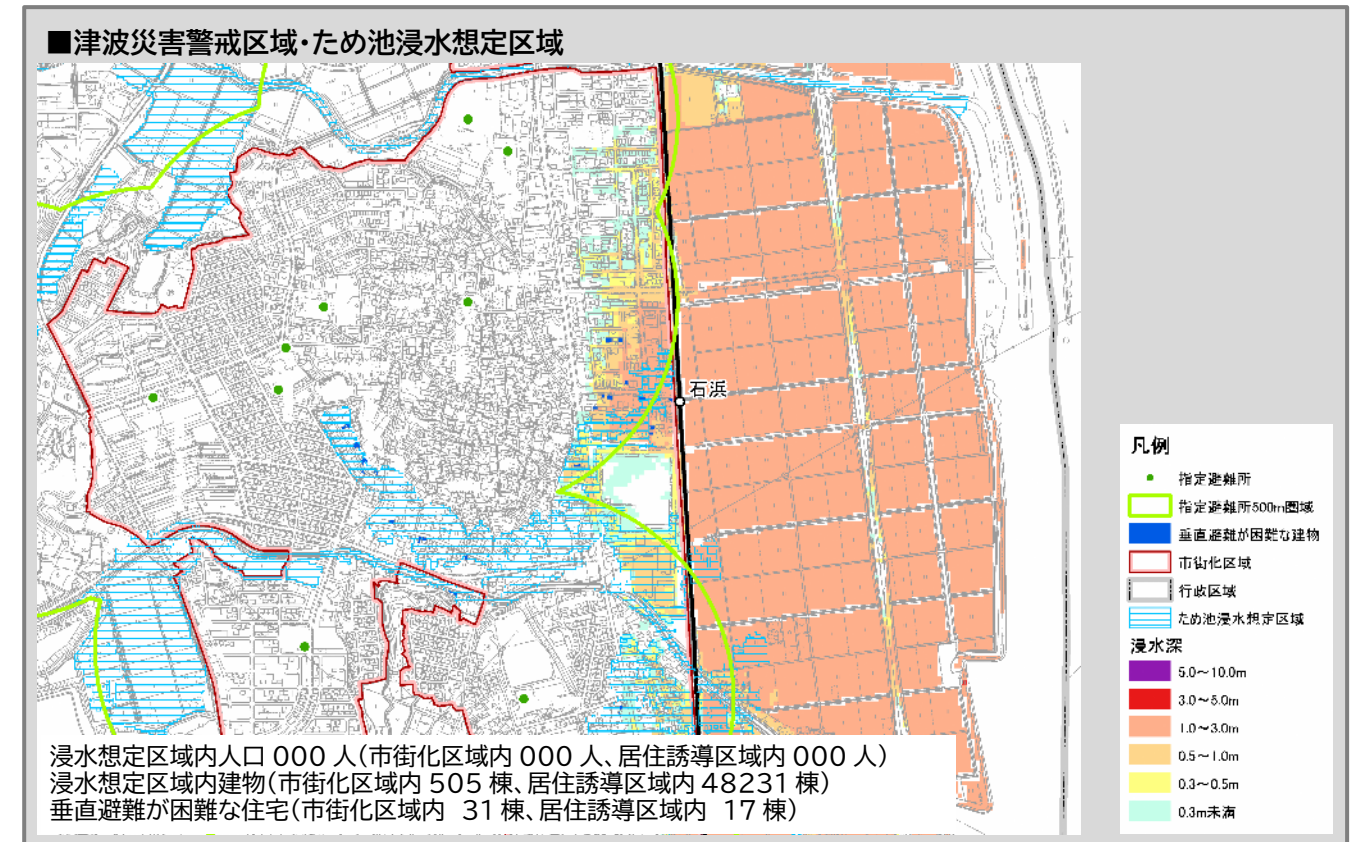
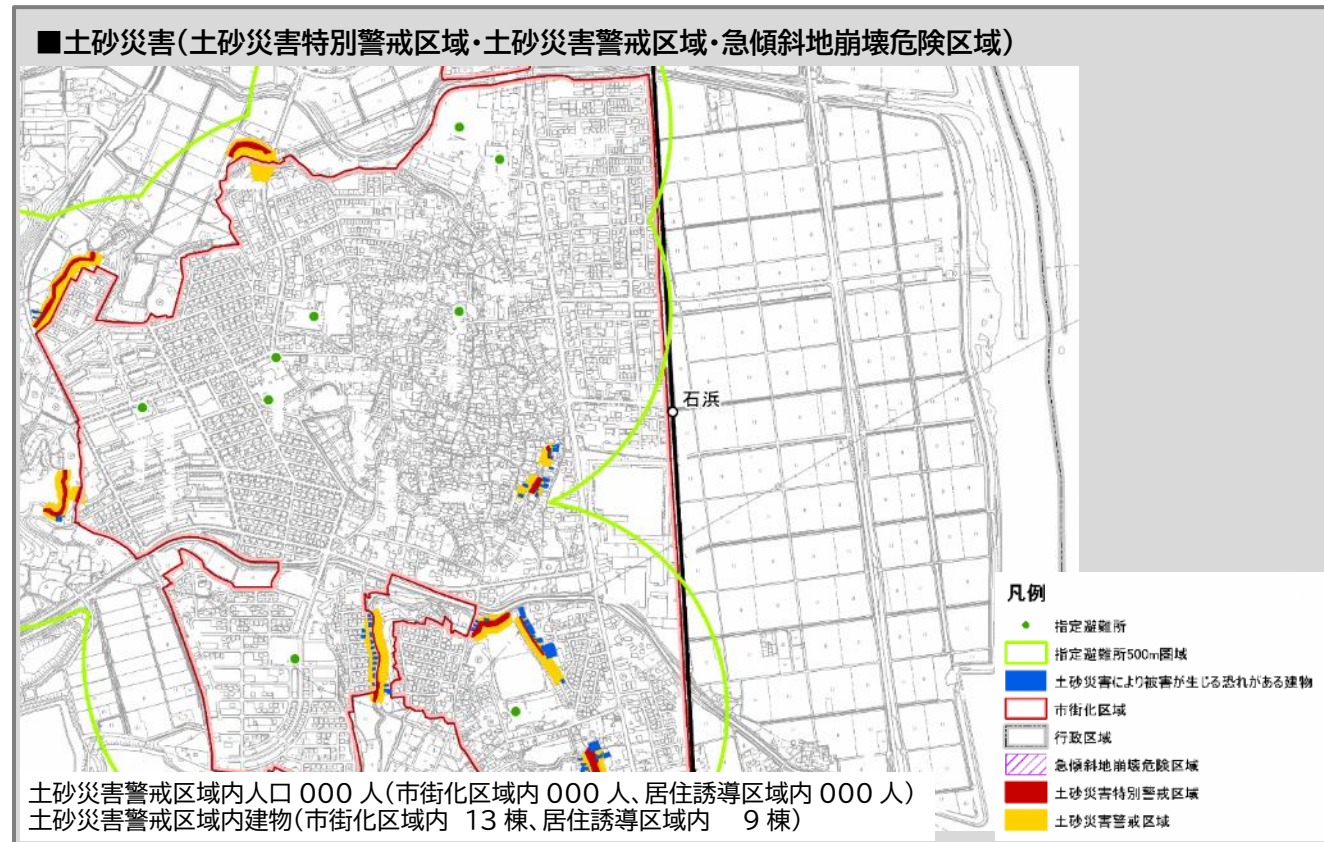
② 緒川駅周辺

緒川駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害の危険性が高い地域があり、住宅の立地もみられます。
また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に洪水、高潮の浸水深が高い傾向にあります。



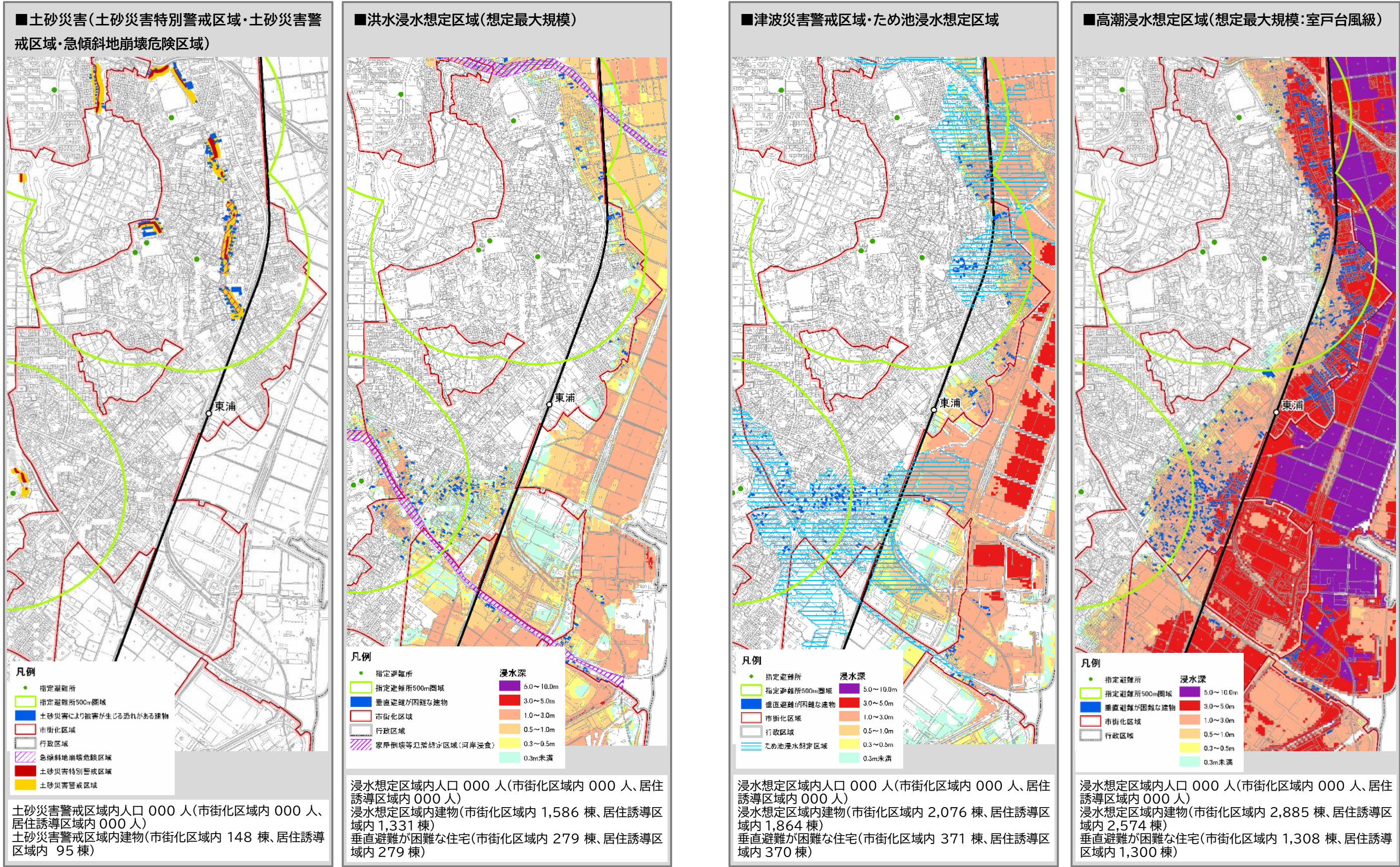
③ 石浜駅周辺

石浜駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害の危険性が高い地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に高潮の浸水深が高い傾向にあります。さらに、ため池浸水想定区域も一部でみられます。



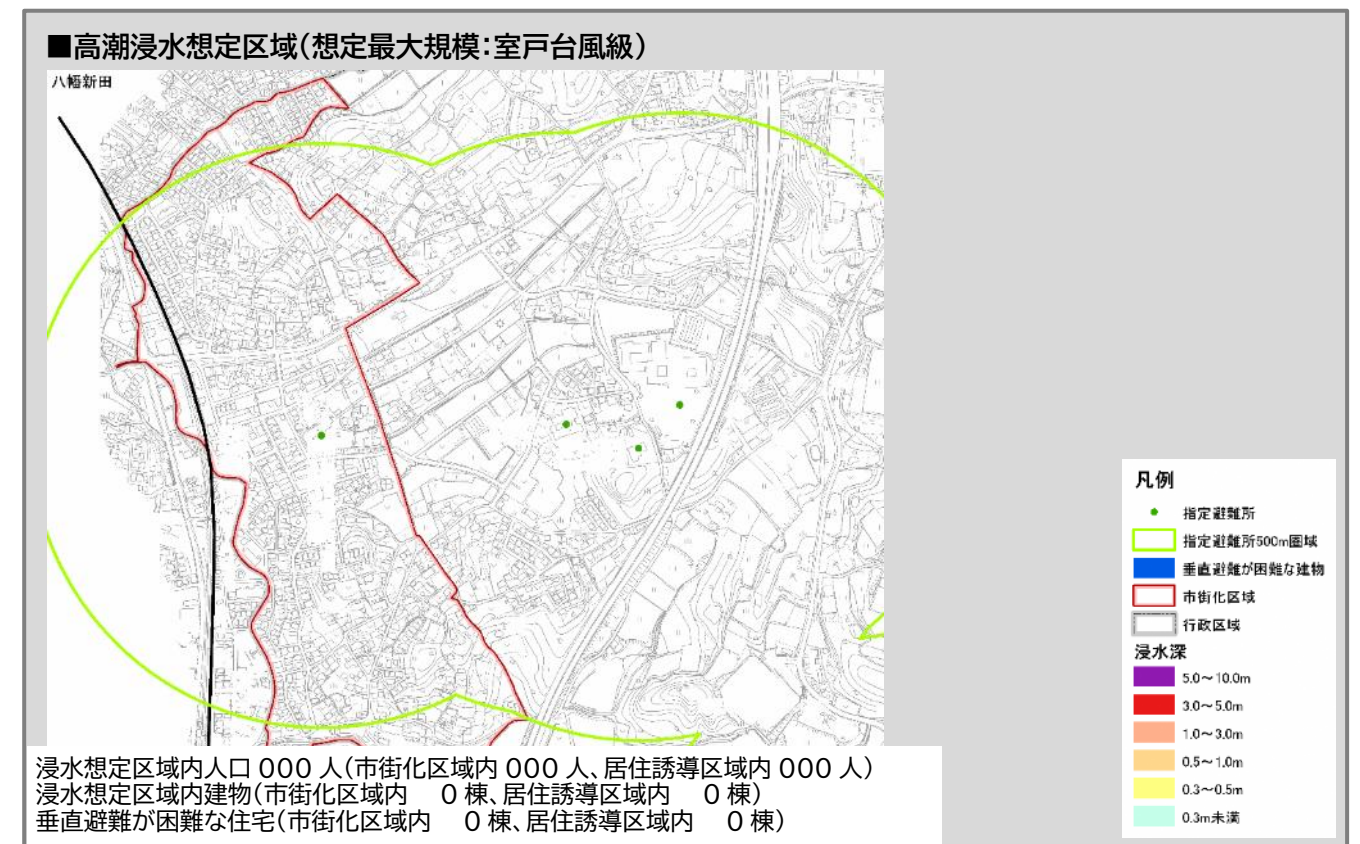
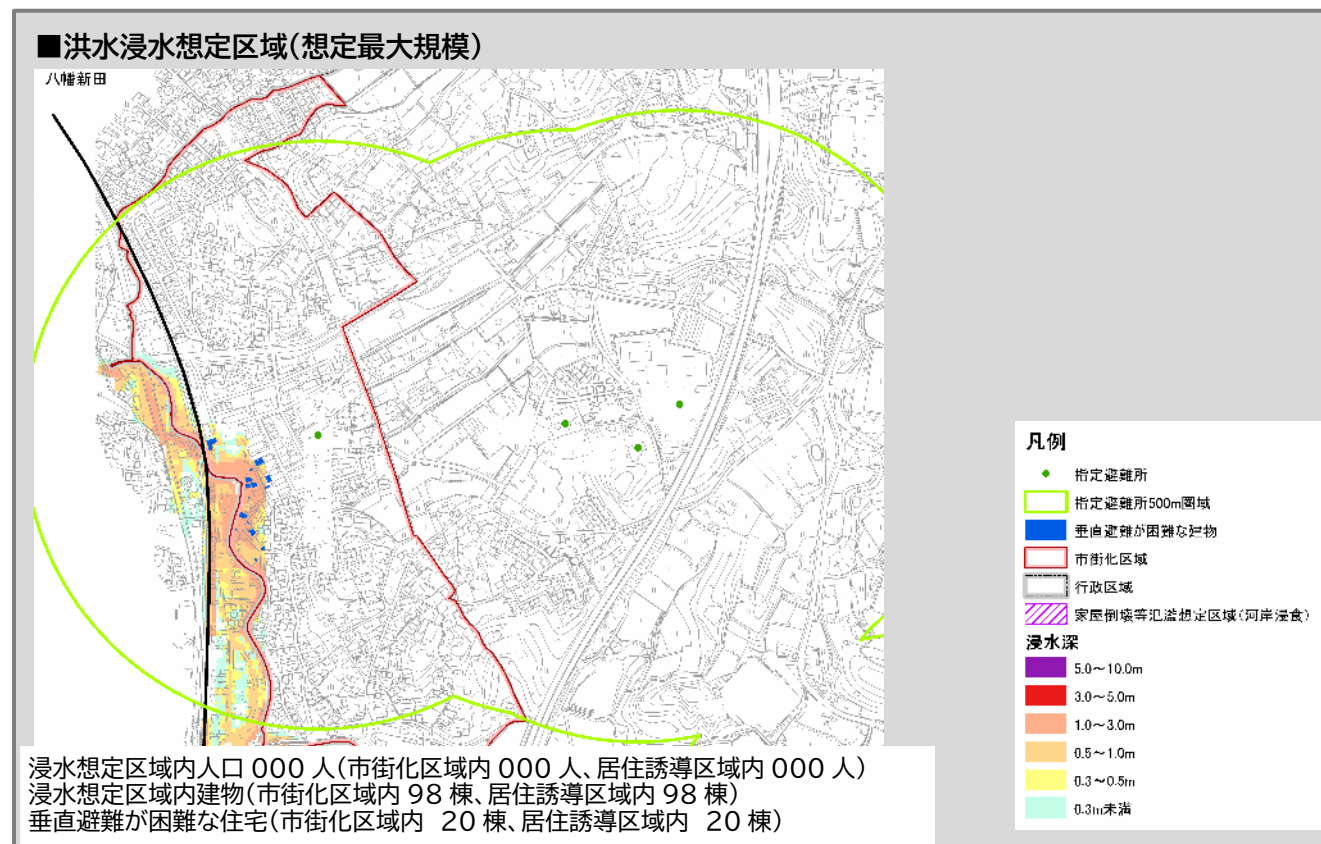
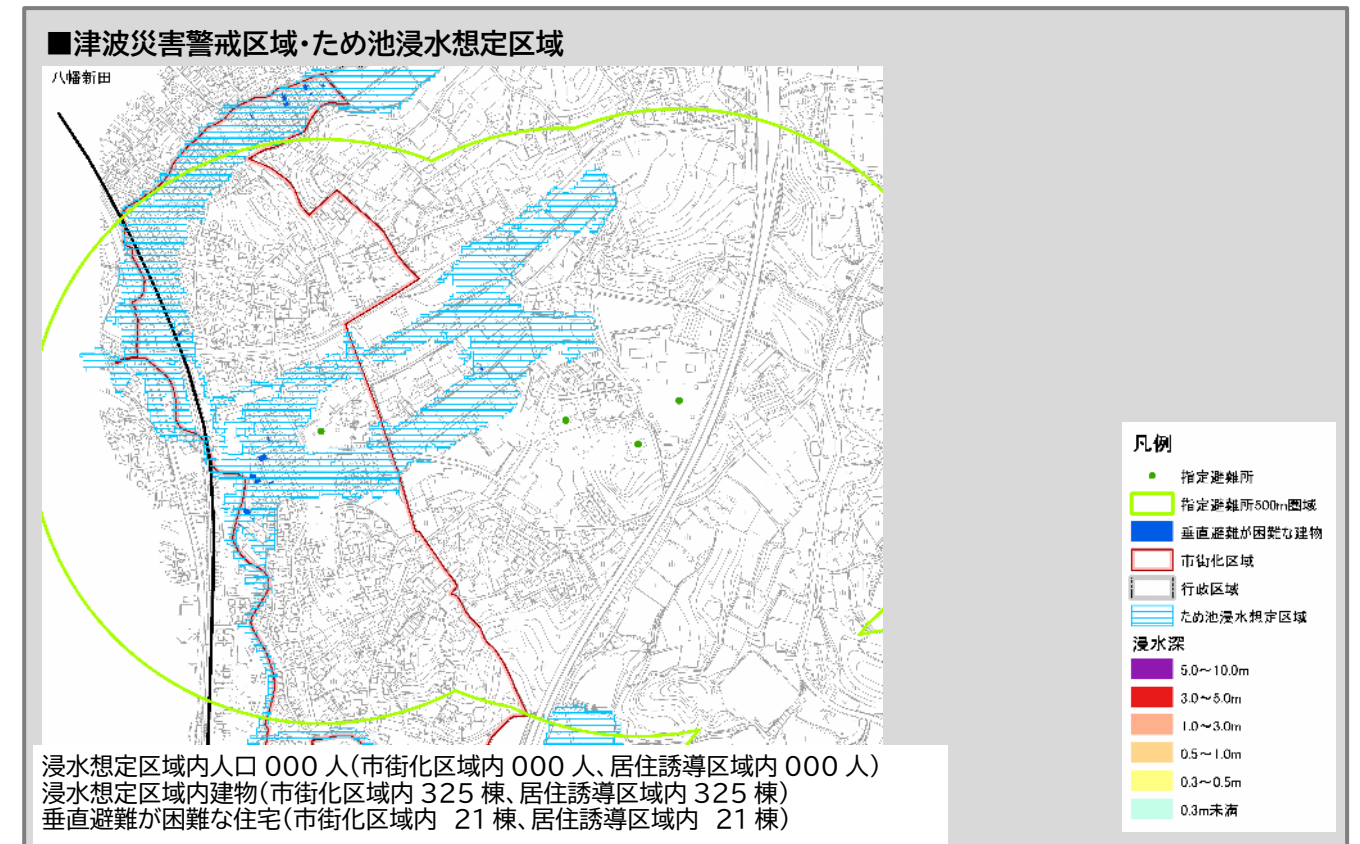
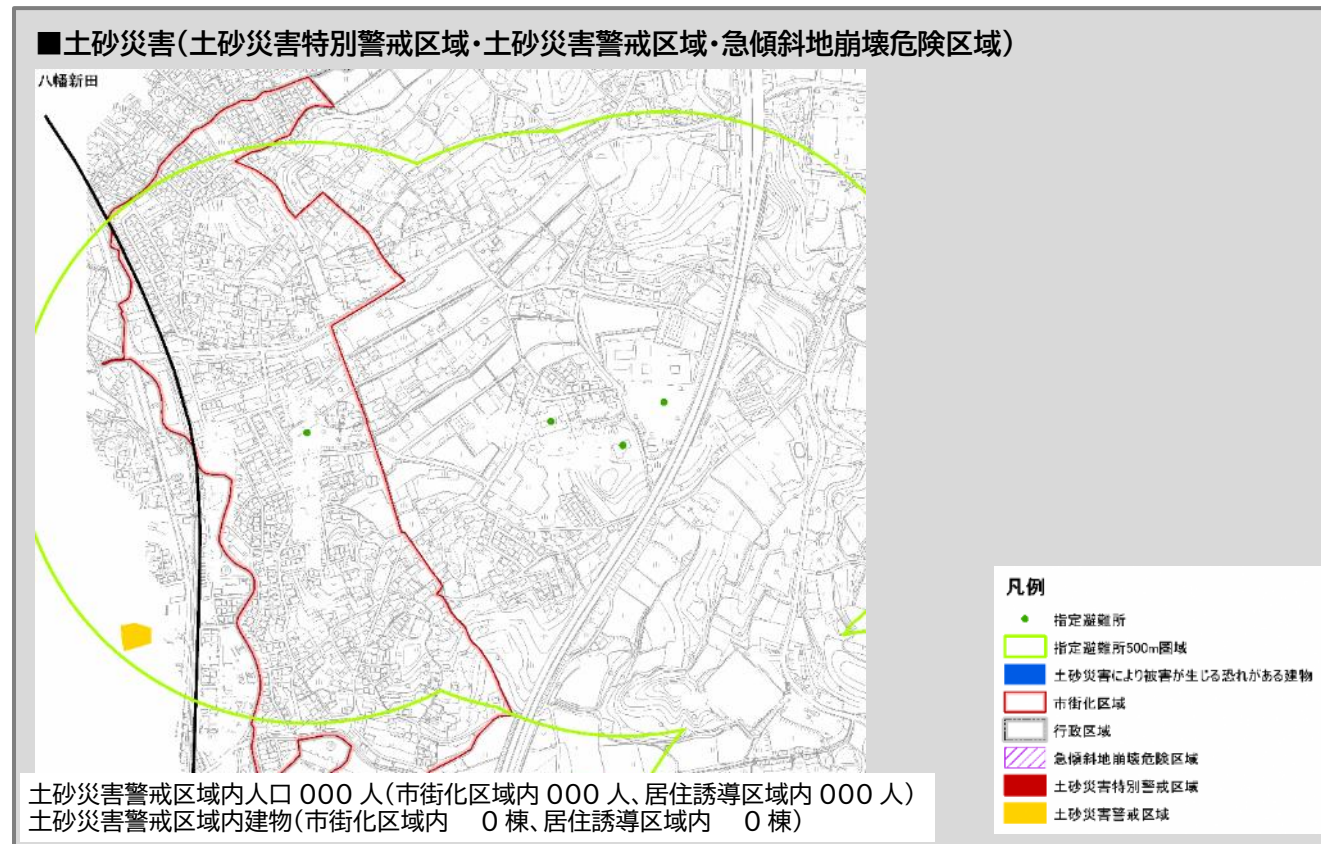
④ 東浦駅周辺

東浦駅周辺においては市街化区域の一部で土砂災害の危険性が高い地域があり、住宅の立地もみられます。また、洪水、津波、高潮による浸水が想定され、市街化区域内の市街地において特に高潮の浸水深が高い傾向にあります。さらに、ため池浸水想定区域も一部で見られます。



⑤ 巽ヶ丘駅周辺

巽ヶ丘駅周辺の市街化区域では土砂災害の危険性の高い地区はみられません。一方、洪水による浸水が一部で想定されるとともに、ため池浸水想定区域もみられます。



(3) 課題の整理

以上より、防災上の課題を整理します。

図 課題の整理（土砂災害）

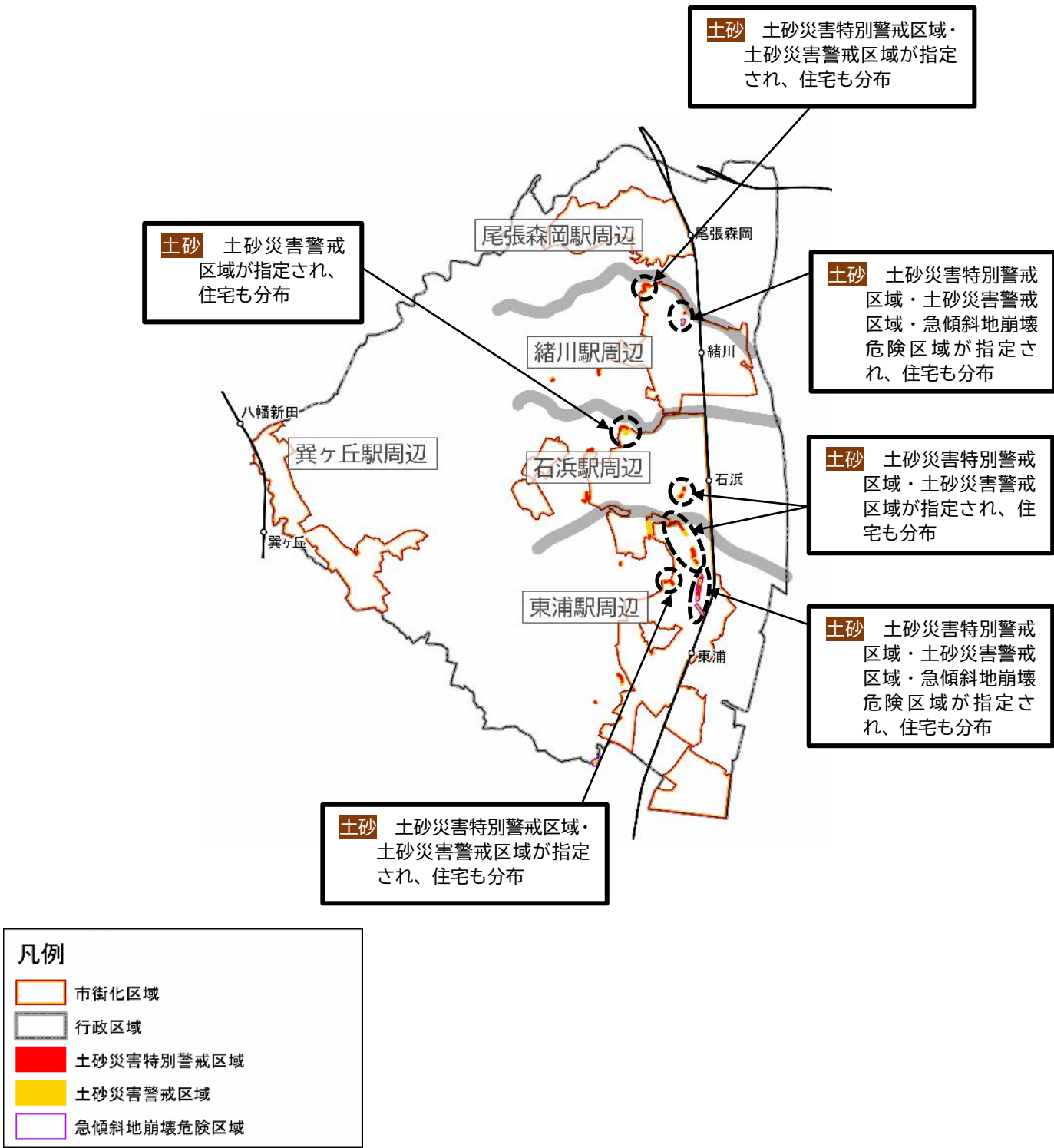
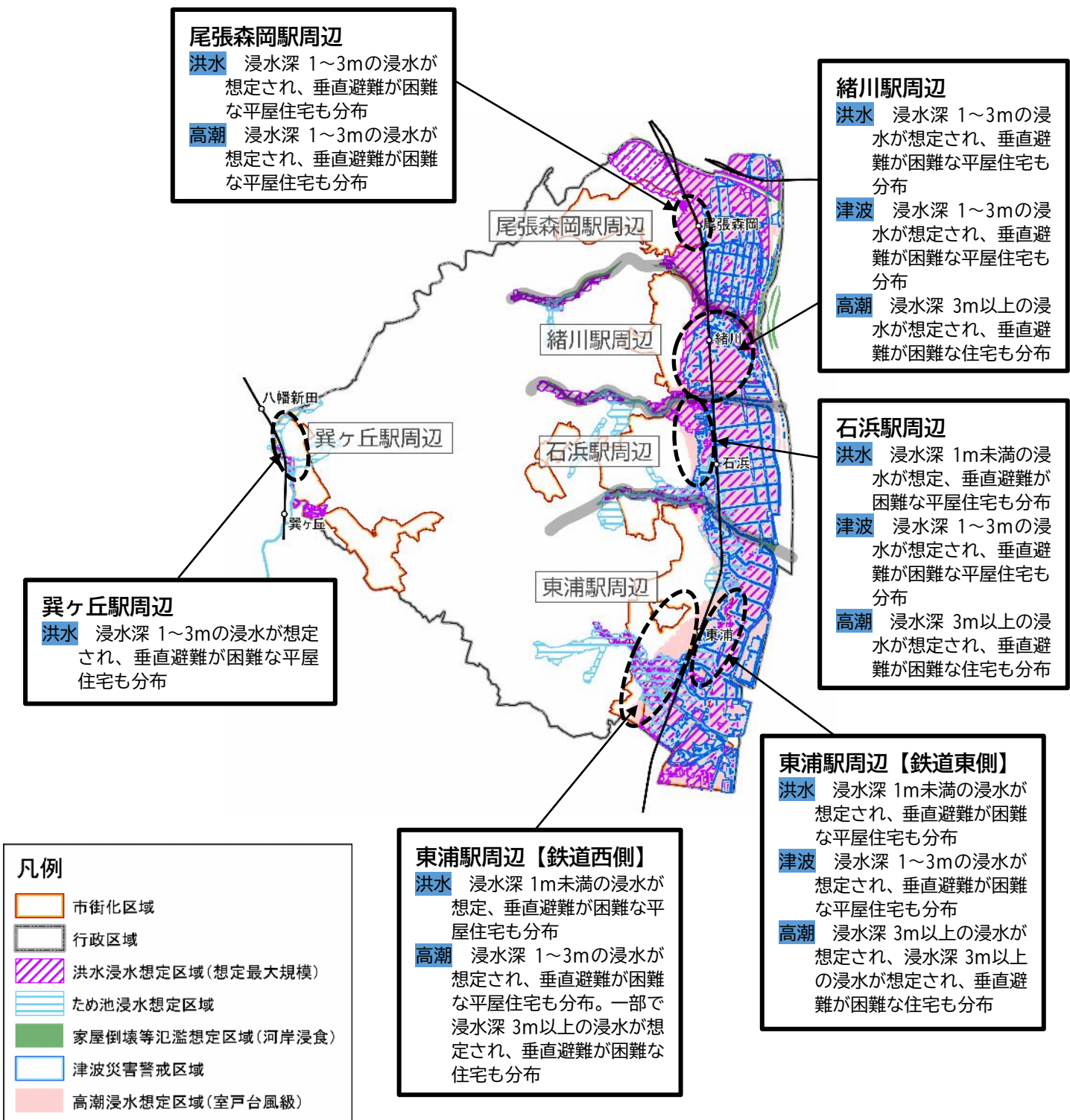


図 課題の整理（水災害）



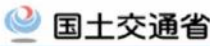
7-2 防災まちづくり取組方針の検討

(1) 防災まちづくりの考え方の整理

取組方針と対策の分類	考えられる具体的取組の例
災害リスクの回避の対策 ・災害時に被害が発生しないようにする（回避する）ための取組	・開発規制、立地誘導、移転促進 ・土地区画整理事業による宅地地盤の高上げ（一帯の浸水解消） ・二線堤の整備（氾濫水が及ぶ範囲の制御） 等
災害リスクの低減の対策（ハード） ※対策の程度によっては災害が防止される場合も想定される ・雨水貯留施設の整備、（市町村管理の）河川や下水道の整備 等による浸水対策や土砂災害防止のための砂防施設の整備等	・下水道の整備、雨水貯留浸透施設の整備や田んぼ、ため池、公園等の既存施設の雨水貯留への活用 ・土地や家屋の高上げ、建物のピロティ化による浸水防止 ・（市町村管理河川の）堤防整備、河道掘削（引提）による流下能力向上 ・土砂災害防止のための法面対策、砂防施設の整備 ・住居・施設等の建築物の浸水対策（止水板の設置等） ・避難路・避難場所の整備 等
災害リスクの低減の対策（ソフト） ・氾濫の発生に際し、確実な避難や経済被害軽減、早期の復旧・復興のための対策	・浸水深が一定の深さ以下であり浸水時にも利用可能な避難路のネットワークの検討・設定や、交通ネットワーク、ライフラインの機能強化 ・早期に避難できる避難場所の一定の距離での配置や案内看板の設置 ・地域の防災まちづくり活動の支援、マイ・タイムライン作成の支援（リスクコミュニケーション） ・地区防災計画の検討・作成 等 175

(2) 取組方針

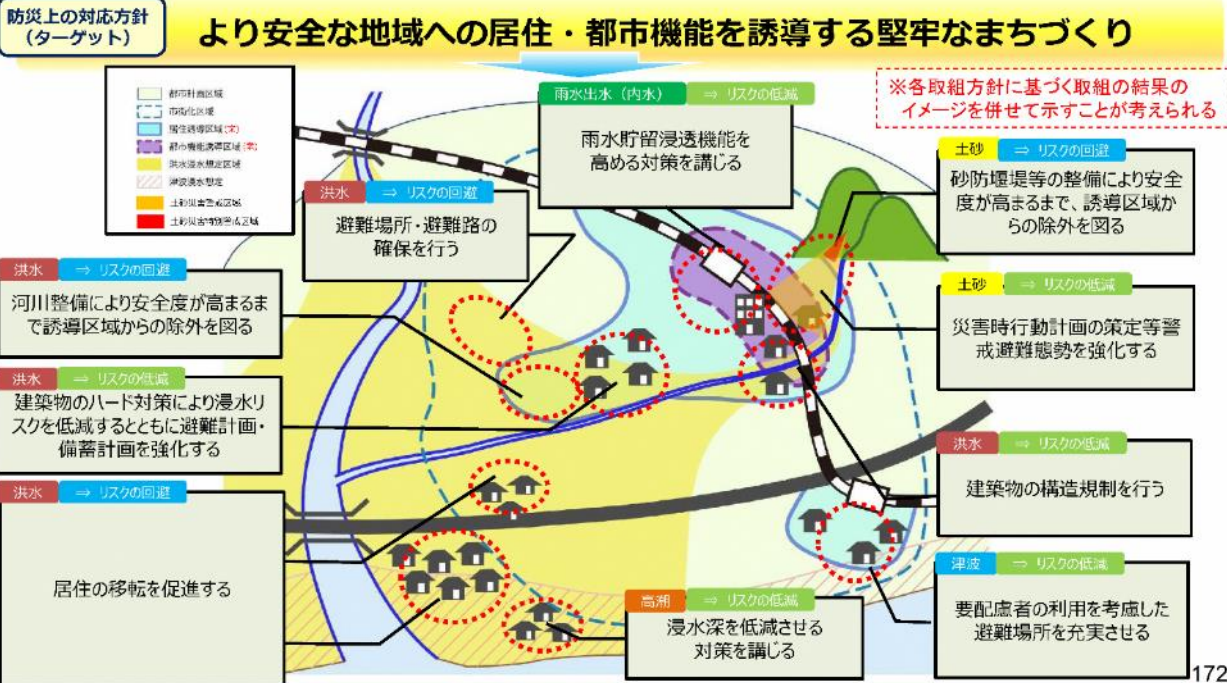
8. 防災指針の検討について



8-2. 防災まちづくりの将来像、取組方針の検討

1) 地区ごとの課題を踏まえた取組方針の検討

■ 防災上の対応方針（ターゲット）と将来像、地区ごとの取組方針の例



7-3 具体的な取組、スケジュール

【参考：尾張旭市立地適正化計画（R4.3月）】

9-8. 取組の実施主体とスケジュール

安全に対する取組方針に基づく取組内容のスケジュールを、次のとおり設定します。

表 安全に対する取組の実施主体とスケジュール

取組内容	実施主体				完了時期		
	県	市	事業者	市民	5年以内	10年以内	20年以内
(1) 洪水被害の減少に向けた施設整備							
① 矢田川・瀬戸川及び天神川の河川改修等	○				(継続実施)		
② 公共下水道事業の促進		○			(継続実施)		
(2) 雨水の流出抑制対策							
① 調整池やため池の貯水機能の維持確保		○					
② 透水性舗装の整備促進		○			(継続実施)		
(3) 土砂災害対策							
① 土砂災害防止対策		○	○	○	(継続実施)		
② 大規模盛土造成地対策		○	○				
(1) 防災体制づくり及び防災教育							
① 防災体制づくり		○	○	○	(継続実施)		
② 児童生徒等に対する防災教育		○		○	(継続実施)		
③ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成支援		○	○		(継続実施)		
(2) ハザードの周知							
① ハザードマップの更新及び周知		○			(継続実施)		
② 避難情報の迅速な伝達		○			(継続実施)		

→ 今後新たに取り組む内容
→ 既に取り組んでいる内容